

K-13. 6(63の1)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状				記事	標尺 (m)	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2			1
1		33.72	1.50	V																				0.00~1.50m : コアなし。	1	
2				V			Ca																	1.50~22.70m : 安山岩 (均質)。 中粒輝石安山岩。 1.50~3.55mは風化し斜長石が白濁しており、所々わずかに赤色化している。	2	
3				V																						
4		31.67	3.55	V		青灰																		3.55~5.45mは健岩に近いが斜長石は白濁している。	4	
5				V																						
6		29.77	5.45	V																				1.50~5.45mの割れ目はすべて褐色化し、所々に幅1~3mmの褐色砂混じり粘土を挟む。 5.45m以深は健岩だが、割れ目は暗褐色化し、オリーブ褐色~黄灰色軟質鉱物が少量付着する。	6	
7				V																						
8				V																						
9				V																						
10				V	安山岩 (均質)																			9.85mに75°の割れ目があり、面は暗褐色化し、幅1mmの緑灰色軟質鉱物を挟む。	10	
11				V																						
12				V			Ba																	12.00~15.00mは60°以上の割れ目が卓越し、半柱状コアが多くなる。	12	
13				V		暗青灰																				
14				V																						
15				V																					14.30mに70°の割れ目があり、面は褐色化して幅1~2mmの明緑灰色軟質鉱物を挟む。	15
16				V																						
17				V																					16.50~18.20mは20°以下の褐色化した割れ目が発達し、所々幅0.5~1mmの明緑灰色軟質鉱物を挟む。	17
18				V																						
19				V																						
20				V																						

※硬さ  
 A : ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の2)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)	記事	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1			
21					安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																				
22																											
23		12. 52	22. 70																								
24					安山岩 (角礫質)	暗赤褐																					
25						赤褐																					
26		9. 72	25. 50																								
27					凝灰角礫岩	赤褐																					
28						暗灰																					
29		6. 52	28. 70																								
30							Bb																				
31						暗青灰																					
32																											
33																											
34																											
35					安山岩 (角礫質)	赤褐																					
36																											
37		-2. 13	37. 35																								
38																											
39						赤褐																					
40																											

※硬さ

- A : ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の3)

GL=35.22m

L=1253.0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ							※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1			
															土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土		
41		-5.78	41.00		安山岩 (角礫質)	赤褐	Bb																		41.00~48.45m: 安山岩(均質)。 中粒輝石安山岩。 41.00~44.85mは60°以上の割れ目が発達し、岩片状~短柱状コア主体。割れ目面はすべて赤褐色化し、所々に幅1~2mmの黄褐色シルトを挟む。	41	
42																										45.50~48.45mは20°以下の割れ目が卓越する。面はすべて褐色化している。	42
43																											48.45~64.50m: 安山岩(角礫質)。 所々赤色化した角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。
44																											
45					安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																		51.85mに80°の割れ目があり、面は黒褐色化して不明瞭な条線が認められるが、付着物は少ない。	45	
46																										55.00~56.10mは安山岩(均質)の角礫。	46
47																											56.10~56.75mは80°と30~45°の割れ目が交差し岩片状コア主体。面は褐色化し、幅1mmの褐色シルトを挟む。
48																											
49						赤褐																				49	
50																											50
51					安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																				51
52																											
53						赤褐																				53	
54																											54
55						暗青灰																					
56																											
57						暗青灰 赤褐																				57	
58																											58
59																											59
60																											60

※硬さ

A: ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。  
 D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。  
 E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。  
 F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状

I: 長柱状(30cm以上の円柱状コア)  
 II: 柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III: 短柱状(全周を有し10cm未満)  
 IV: 岩片状(全周のない4cm以上の岩片)  
 V: 細片状(長さ4cm未満の岩片)  
 VI: 土砂状

※断裂面の性状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の4)

GL=35.22m

L=1253.0m

標尺(m)	月日	標高(m)	深度(m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状			記事	標尺(m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3		
61				▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 、 赤褐	Bb													60.00~64.50mは多孔質な安山岩角礫が卓越する。	61			
62				▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 、 赤褐	Bb													61.50mに50°の割れ目があり、面は小凹凸があり、褐色化して幅1~2mmの褐色砂混じりシルトを挟む。	62			
63				▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 、 赤褐	Bb														63			
64		-28.98	64.20	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 、 赤褐	Bb														64			
65		-29.28	64.50	▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba													64.50~68.75m:安山岩(均質)。 64.70~66.60mは50~70°の割れ目が卓越し、面は褐色化して光沢があり、幅1mm前後の黄褐色~明灰色軟質鉱物を挟む。	65			
66				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														66			
67				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														67			
68				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														68			
69		-33.53	68.75	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 、 赤褐	Bb													68.75~71.25m:安山岩(角礫質)。 やや赤色化した角礫化の弱いやや多孔質の中粒輝石安山岩。	69			
70		-33.68	68.90	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 、 赤褐	Bb														70			
71		-36.03	71.25	▽▽▽▽	凝灰角礫岩	赤褐 、 暗青灰	Bb													71.25~74.80m:凝灰角礫岩。 赤色化した基質中にφ1~3cm、最大約10cmの様々な色調の安山岩角礫を含む。	71			
72				△△△△	凝灰角礫岩	赤褐 、 暗青灰	Bb														72			
73				△△△△	凝灰角礫岩	赤褐 、 暗青灰	Bb														73			
74				△△△△	凝灰角礫岩	赤褐 、 暗青灰	Bb														74			
75		-39.58	74.80	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	赤褐 、 暗赤褐	Bb													74.80~76.75m:安山岩(角礫質)。 赤色化した角礫化の弱い中粒輝石安山岩。	75			
76		-41.53	76.75	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	赤褐 、 暗赤褐	Bb														76			
77				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														76.75~88.65m:安山岩(均質)。 中粒輝石安山岩。 76.75~78.50mは60~80°の割れ目が卓越し、面は褐色化して幅1mm前後の褐色~暗褐色シルトを挟む。	77		
78				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														78			
79				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														79			
80				▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba														80			

※硬さ

- A: ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。
- D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。
- E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。
- F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状

- I: 長柱状(30cm以上の円柱状コア)
- II: 柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III: 短柱状(全周を有し10cm未満)
- IV: 岩片状(全周のない4cm以上の岩片)
- V: 細片状(長さ4cm未満の岩片)
- VI: 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13.6(63の6)

GL=35.22m

L=1253.0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状 図	地質 名	色調	岩級 区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)					
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		記 事				
101				V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																				101.35~105.60mは20~45°の割れ目が卓越する。面は概ね黒褐色化して光沢があり、所々褐色シルトが少量付着する。 101.65mに80°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、幅1mmの暗緑色軟質鉱物を挟む。	101		
102			V																										102	
103				V																										103
104				V																										104
105				V																										105
106		-70.38	105.60	V	安山岩 (角礫質)	赤褐 暗灰	Bb																			105.35mに60°の割れ目があり、面は黒褐色化して幅1mmの褐色砂混じりシルトを挟む。 105.60~117.70m: 安山岩(角礫質)。 105.60~107.60mは赤色化した角礫化のやや進んだ中粒輝石安山岩。	106			
107			V																										107	
108		-72.38	107.60	V				暗灰 赤褐																			107.60~117.70mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。やや多孔質でコア肌は粗い。	108		
109			V																										109	
110				V																								110		
111		-74.68	109.90	V																						111				
112				V																						112				
113				V																					113.00~113.50mは安山岩(均質)の角礫。	113				
114				V																					114.10~114.60mは20~50°の割れ目が発達し、岩片状となるが、面は概ね新鮮である。	114				
115				V																						115				
116				V																						116				
117				V																					116.50mに60°の割れ目があり、面は小凹凸があり、黒褐色化して不明瞭な条線が認められるが、付着物はほとんどない。	117				
118		-82.48	117.70	△	凝灰角礫岩	赤褐 暗青灰 明緑灰																			117.70~124.60m: 凝灰角礫岩。 やや赤色化した基質中にφ1~4cm、最大約15cmの様々な色調の安山岩角礫を含む。基質はやや脆弱でコア肌が粗い。	118				
119			△																									119		
120				△																									120	

※硬さ

- A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。
- D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。
- E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。
- F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下(だく音)。

※コアの形状

- I: 長柱状(30cm以上の円柱状コア)
- II: 柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III: 短柱状(全周を有し10cm未満)
- IV: 岩片状(全周のない4cm以上の岩片)
- V: 細片状(長さ4cm未満の岩片)
- VI: 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の7)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)								
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1									
														土細岩	短柱状	長柱状	片状	片状	柱状														
121				△△△△△	凝灰角礫岩	赤褐																											
122			△△△△△	暗青灰																													
123			△△△△△	明緑灰																													
124			△△△△△																														
125		-89.38	124.60	▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	青黒	Bb																										
126			▽▽▽▽▽																														
127			▽▽▽▽▽																														
128			▽▽▽▽▽																														
129			▽▽▽▽▽																														
130			▽▽▽▽▽																														
131			▽▽▽▽▽																														
132			▽▽▽▽▽																														
133			▽▽▽▽▽																														
134		-99.18	134.40	▽▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗赤褐	Ba																										
135			▽▽▽▽▽																														
136			▽▽▽▽▽																														
137			▽▽▽▽▽																														
138			▽▽▽▽▽																														
139			▽▽▽▽▽																														
140		-104.38	139.60	▽▽▽▽▽			Ca																										

124. 60~134. 40m : 安山岩 (角礫質)。  
角礫化の弱い中粒輝石安山岩。やや多孔質でコア肌が粗く、所々やや赤色化している。

126. 15mに70° の割れ目があり、上盤側に幅約8cmの赤褐色角礫混じり細粒凝灰岩を挟む。割れ目沿いに細片化している。

126. 80~127. 55mは角礫間が緑灰色に脆弱化しており、60~70° の割れ目に沿って粗粒砂状となる。

128. 30mに80° の割れ目があり、上盤側に幅3mmの赤褐色細粒凝灰岩を挟む。面は平滑で、黒褐色化して幅1mm未満の暗赤褐色シルトを挟む。

131. 10mに70° の割れ目があり、面は平滑で、黒褐色化して幅1mm未満の暗赤褐色シルトを挟む。上盤側に幅2mmの赤褐色細粒凝灰岩を挟む。

132. 70~134. 40mは角礫間が緑灰色に脆弱化しており、割れ目に沿って粗粒砂状となる。

134. 40~145. 40m : 安山岩 (均質)。  
中粒輝石安山岩。  
所々幅5~10cmの弱い自破砕状脆弱部を挟む。  
30~60° の割れ目が発達し、面は暗緑色化し、所々幅1~2mmの緑灰色軟質鉱物を挟む。

137. 30mに70° の割れ目があり、面は黒褐色化して平滑で、幅4~5mmの黄褐色砂混じりシルトを挟む。

139. 60~140. 10mは細片状となり、細片の表面には緑灰色軟質鉱物が付着する。

- ※硬さ
- A : ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
  - F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。
- ※コアの形状
- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI : 土砂状
- ※断裂面の性状
- 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の8)

GL = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状 図	地質 名	色調	岩級 区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)			
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土砂	岩片	柱状	柱状	柱状		柱状	5	4
141		-104.88	140.10	V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																				140.50~140.80mは70°で幅約5cmの自破砕状脆弱部を挟む。	141
142				V																							141.65mに65°の割れ目があり、面は暗緑色化して幅3~5mmのオリブ色砂混じりシルトを挟む。	142
143				V																								143
144				V																								144
145		-110.18	145.40	V																							144.60~145.30mは自破砕状脆弱部が卓越する。	145
146		-110.73	145.95	V		暗赤褐																					145.40~160.85m: 安山岩(角礫質)。 145.40~145.95mは赤色化した角礫化の弱い中粒輝石安山岩。 145.95~156.35mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。やや多孔質でコア肌が粗い。	146
147				V																								147
148				V		青黒																						148
149				V																							148.50mに60°の割れ目があり、面は平滑で暗赤褐色化し、条線が認められるが付着物はほとんどない。 148.85mに65°の割れ目があり、面は平滑で褐色化し、条線が認められるが付着物はほとんどない。	149
150				V																								150
151				V																								151
152				V																								152
153				V	安山岩 (角礫質)		Bb																					153
154				V		褐																						154
155				V																								155
156		-121.13	156.35	V																							155.20mに70°の割れ目があり、面は平滑で、暗褐色化して褐色シルトが少量付着する。下盤側に幅2mmの赤褐色細粒凝灰岩を挟む。	156
157				V																							156.35~159.20mは赤色化した角礫化の弱い中粒輝石安山岩。やや多孔質でコア肌が粗い。 割れ目は少なく、面は概ね新鮮。	157
158				V		赤褐																						158
159		-123.98	159.20	V		暗紫灰 黄褐																					159.20~160.85mは自破砕状の細粒~中粒輝石安山岩。角礫は暗色・境界明瞭で角礫間は黄褐色。 159.60~159.65mは角礫間が脆弱化し、黄褐色細砂礫状となる。	159
160				V																								160

※硬さ

- A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。
- D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。
- E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。
- F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下(だく音)。

※コアの形状

- I: 長柱状(30cm以上の円柱状コア)
- II: 柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III: 短柱状(全周を有し10cm未満)
- IV: 岩片状(全周のない4cm以上の岩片)
- V: 細片状(長さ4cm未満の岩片)
- VI: 土砂状

※断裂面の性状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。





K-13. 6 (63の10)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ										※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土砂状	土状	短柱状	長柱状	5	4	3	2	1		
181		-145.28	180.50	△△△△	凝灰角礫岩	暗青灰	Bb																			180.50~187.15mは細粒砂~中粒砂サイズの褐色基質中にφ1~5cm、最大約15cmの様々な色調の角礫を多量に含む(礫分40~60%)。礫種は暗青灰色~暗赤褐色の輝石安山岩が卓越し、淡黄色デイサイトが少量混じる。	181			
182			△△△△	暗赤褐																							182			
183				△△△△		暗青灰																						183		
184				△△△△	暗赤褐																					184				
185				△△△△	淡黄																					185				
186				△△△△	暗赤褐																					186				
187		-151.93	187.15	△△△△	凝灰角礫岩	暗青灰	Bb																			187.15~206.75mが細粒砂~中粒砂サイズの褐色基質中にφ1~3cmの暗青灰色~暗赤褐色の輝石安山岩角礫を含む(礫分30~50%)。所々にφ25~40cmの角礫を含む。	187			
188			△△△△	暗赤褐																								188		
189			△△△△	暗青灰																									189	
190			△△△△	暗赤褐																									190	
191			△△△△	暗青灰																									191	
192			△△△△	暗赤褐																									192	
193			△△△△	暗青灰																									193	
194			△△△△	暗赤褐																									194	
195			△△△△	暗青灰																									195	
196			△△△△	暗赤褐																									196	
197			△△△△	暗青灰																									197	
198			△△△△	暗赤褐																									198	
199			△△△△	暗青灰																						199				
200			△△△△	暗赤褐																						200				

※硬さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の11)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標 尺 (m)	月 日	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	岩 級 区 分	※ 硬 さ						※ コアの形状						※ 断 裂 面 の 性 状	記 事	標 尺 (m)								
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I				5	4	3	2	1			
201				△	凝灰角 礫岩	暗青灰	Bb																					201		
202				△		〃																								202
203				△		暗赤褐																								203
204				△		〃																								204
205				△		〃																								205
206				△		褐																								206
207		-171. 53	206. 75	△	安山岩 (角礫質)	暗青灰																							207	
208				▽		〃																								208
209				▽		暗赤褐																								209
210				▽		〃																								210
211				▽		〃																								211
212				▽		〃																								212
213				▽	安山岩 (角礫質)	暗黒																						213		
214		-178. 33	213. 55	▽		〃																							214	
215				▽		〃																							215	
216				▽		〃																							216	
217				▽		オリ ブ褐																							217	
218				▽		〃																							218	
219				▽	〃																							219		
220				▽	〃																							220		

※ 硬 さ

- A: ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。
- D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。
- E: 軽打で割れ、ナイフではずれる(だく音)。
- F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※ コアの形状

- I: 長柱状(30cm以上の円柱状コア)
- II: 柱 状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III: 短柱状(全周を有し10cm未満)
- IV: 岩片状(全周のない4cm以上の岩片)
- V: 細片状(長さ4cm未満の岩片)
- VI: 土砂状

※ 断  
裂  
面  
の  
性  
状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13.6(63の12)

G L = 35.22m

L = 1253.0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		
								状	状	状	状	状	状	状	状	柱	柱	柱	柱	状	状	柱	柱	柱		
221				▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗黒	Bb																	221		
222				▽▽▽																				222		
223				▽▽▽		オリ ブ褐																		223		
224		-188.68	223.90	▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																224	224		
225				▽▽▽																			225	225		
226		-190.53	225.75	▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																226	226		
227				▽▽▽		暗赤褐																	227	227		
228		-192.48	227.70	▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																228	228		
229				▽▽▽																			229	229		
230				▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																230	230		
231				▽▽▽																			231	231		
232				▽▽▽																			232	232		
233				▽▽▽																			233	233		
234		-198.58	233.80	▽▽▽	安山岩 (均質)	青黒	Bb																234	234		
235				▽▽▽																			235	235		
236				▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb																236	236		
237				▽▽▽																			237	237		
238				▽▽▽																			238	238		
239				▽▽▽																			239	239		
240		-204.78	240.00	▽▽▽																			240	240		

※硬さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の13)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標 尺 (m)	月 日 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	岩 級 区 分	※硬さ						※コアの形状						※断 裂 面 の 性 状	記 事	標 尺 (m)								
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I				土 砂	岩 片	短 柱	長 柱				
241				▽▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																			240. 00～248. 10m：安山岩（均質）。 細粒輝石安山岩。 20～40°と60°以上の割れ目が交差して発達するため、半柱状～岩片状コア主体となる。割れ目は概ね暗緑色化して光沢があり、しばしば幅1～2mmの暗緑色軟質鉱物を挟む。	241			
242				▽▽▽▽▽																										242
243				▽▽▽▽▽																										243
244				▽▽▽▽▽																										244
245				▽▽▽▽▽																							245			
246				▽▽▽▽▽																							246			
247				▽▽▽▽▽																							247			
248		-212. 88	248. 10	▽▽▽▽▽																							248			
249				▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																				248. 10～264. 75m：安山岩（角礫質）。 248. 10～250. 60mlは自破砕状の細粒輝石安山岩。 248. 10～248. 35mlは50°の平行割れ目に挟まれ脆弱化している。	249		
250				▽▽▽▽▽		暗褐																							250	
251		-215. 48	250. 70	▽▽▽▽▽		赤褐																						250. 60～264. 75mlは角礫化の弱い細粒～中粒輝石安山岩。所々角礫化がやや進み赤褐色～緑灰色の角礫を含む部分を挟む。割れ目は少なく、面は概ね新鮮。 250. 70～251. 60mlは赤色化し、角礫化がやや進んでいる。	251	
252		-216. 38	251. 60	▽▽▽▽▽																									252	
253				▽▽▽▽▽	暗青灰																							253		
254				▽▽▽▽▽																								254		
255				▽▽▽▽▽																								255		
256				▽▽▽▽▽																								256		
257				▽▽▽▽▽																								257		
258				▽▽▽▽▽		灰褐																						258		
259				▽▽▽▽▽																								259		
260				▽▽▽▽▽																								260		

※硬さ

- A：ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。
- B：中打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。
- C：中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難（亜金属音）。
- D：軽打で割れ、ナイフで傷がつく（亜金属音）。
- E：軽打で割れ、ナイフでけずれる（だく音）。
- F：手で割れ、ナイフがつきささる程度以下（だく音）。

※コアの形状

- I：長柱状（30cm以上の円柱状コア）
- II：柱状（10cm以上30cm未満の円柱状コア）
- III：短柱状（全周を有し10cm未満）
- IV：岩片状（全周のない4cm以上の岩片）
- V：細片状（長さ4cm未満の岩片）
- VI：土砂状

※断  
裂  
面  
の  
性  
状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する（厚さ0. 5mm以上について記載）。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する（厚さ0. 5mm以上について記載）。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の14)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		
								状状状状状状						状状状状状状												
261				▽▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰																				
262				▽▽▽▽▽▽	〃																					
263				▽▽▽▽▽▽	灰褐																					
264				▽▽▽▽▽▽																						
265		-229.53	264.75	△△△△△△	凝灰角礫岩	暗青灰																				
266				△△△△△△	〃																					
267				△△△△△△	緑灰																					
268				△△△△△△	〃																					
269		-233.73	268.95	△△△△△△	安山岩 (角礫質)	暗赤褐																				
270				▽▽▽▽▽▽	〃		Bb																			
271				▽▽▽▽▽▽	暗青灰																					
272				▽▽▽▽▽▽	〃																					
273				▽▽▽▽▽▽																						
274				▽▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)																					
275				▽▽▽▽▽▽	〃																					
276				▽▽▽▽▽▽	灰赤																					
277				▽▽▽▽▽▽																						
278				▽▽▽▽▽▽																						
279		-243.33	278.55	▽▽▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																			
280				▽▽▽▽▽▽	暗赤灰																					

264.75~268.95m: 凝灰角礫岩。  
やや赤色化した基質中にφ1~3cm、最大約8cmの様々な色調の安山岩角礫を含む。  
割れ目は少なく、面は概ね新鮮。

268.95~278.55m: 安山岩 (角礫質)。  
やや赤色化した角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。  
所々角礫化がやや進み、異なる色調の角礫を含む。  
20°以下の割れ目が卓越し、面は概ね新鮮。

270.70mに65°の割れ目があり、面は新鮮だが高角度の条線が認められる。

278.55~281.60m: 安山岩 (均質)。  
中粒輝石安山岩。  
やや多孔質で、所々わずかに赤色化している。

279.50mに80°のわん曲した割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、幅1~2mmのオリブ色軟質鉱物を挟む。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p>※硬さ</p> <p>A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。<br/>B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。<br/>C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。<br/>D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。<br/>E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。<br/>F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。</p> | <p>※コアの形状</p> <p>I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)<br/>II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)<br/>III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)<br/>IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)<br/>V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)<br/>VI: 土砂状</p> | <p>※断裂面の性状</p> <p>1. 割目が新鮮。<br/>2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。<br/>3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。<br/>4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。<br/>5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。</p> |
|---|---|---|

K-13. 6 (63の15)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)		
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土砂状	岩片状	柱状	短柱状	長柱状			5	4
281		-246.38	281.60	▽▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰 暗赤灰	Ba																				280.70mに85°のわん曲した割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、幅1~2mmのオリブ色軟質鉱物を挟む。	281
282				▽▽▽▽▽																							281.60~312.95m: 安山岩 (角礫質)。 281.60~300.45mは角礫化の弱い中粒~粗粒輝石安山岩。全般に赤色化し、角礫の境界はやや不明瞭。やや多孔質でコア肌は粗く、亜金属音を発する。割れ目は少なく、面は概ね新鮮。	282
283				▽▽▽▽▽		暗赤褐																						283
284				▽▽▽▽▽																								284
285				▽▽▽▽▽																								285
286				▽▽▽▽▽																								286
287				▽▽▽▽▽																								287
288				▽▽▽▽▽																								288
289				▽▽▽▽▽																								289
290				▽▽▽▽▽																								290
291				▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)		Bb																					291
292				▽▽▽▽▽																								292
293				▽▽▽▽▽																								293
294				▽▽▽▽▽																							293.70mに60°の割れ目があり、面は暗赤褐色して高角度の条線が認められ、幅1mm未満の暗褐色シルトを挟む。	294
295				▽▽▽▽▽																							295.00~296.15mは角礫の境界に沿って幅約2mmが暗褐色に変色している。	295
296				▽▽▽▽▽		赤褐																						296
297				▽▽▽▽▽																								297
298				▽▽▽▽▽																								298
299				▽▽▽▽▽																								299
300				▽▽▽▽▽																								300

※硬さ  
 A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI: 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状					※断裂面の性状	記事	標尺 (m)								
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II				I							
301		-265.23	300.45	▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽ ▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐 赤褐	Bb																	300.45~303.00mは角礫化がごく弱く均質に近いが、割れ目が発達し、所々岩片状~細片状コアとなる。 301.20~301.60mは40~60°の割れ目が交差し岩片状コアとなる。面は黒褐色化し部分的に青緑色軟質鉱物が少量付着する。 302.10~302.60mは20~60°の割れ目が交差し岩片状~細片状コアとなる。面は黒褐色化し幅0.5~1mmの暗褐色シルトが付着する。 303.00m以深は割れ目が少なく長柱状~柱状のコアが連続する。 304.30~304.85mは角礫化がごく弱く均質に近い。金属音を発する。 304.45mに70°の割れ目があり、面は赤褐色し光沢がある。付着物はほとんどないが、面に沿ってフィルム状に剥離し易い。 304.65mにも70°の割れ目があり、面は黒褐色~赤褐色化し光沢がある。 明緑灰色鉱物が少量付着する。 305.10mに65°の平行割れ目があり、割れ目間の幅約1cmが細片化している。いずれの割れ目も面は褐色化し幅1mm未満の赤褐色細粒部を挟み条線が認められる。 311.70mに45°の割れ目があり、面には赤褐色粘土フィルムが付着し、不明瞭な条線が認められる。 下層との境界は漸移的で密着している。 312.95~316.40m：安山岩（均質） 輝石斑晶が目立つ中粒~粗粒輝石安山岩。 全般にやや赤色化しているが、金属音を発する。 割れ目は60~80°のものが卓越し、面は黒褐色化して光沢があり、褐色シルトが付着する。 315.50~315.70mは80°のわん曲した割れ目に沿って細片状になっている。 面は黒褐色化して光沢があり、幅1mm未満の暗褐色シルトを挟む。 下層との境界は漸移的で密着している。 316.40~345.40m：安山岩（角礫質）。 316.40~339.45mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。 全般に赤色化し、角礫の境界はやや不明瞭。やや多孔質で垂金属音を発する。 317.80mに65°の割れ目があり、面は暗赤褐色して赤褐色シルトが少量付着する。 318.35mに60°の割れ目があり、面はほぼ新鮮だが青緑色軟質鉱物が少量付着する。	301				
302						暗灰																						302	
303		-267.78	303.00																										303
304																													304
305																													305
306																													306
307																													307
308									赤褐																				308
309																													309
310																													310
311																													311
312																													312
313		-277.73	312.95																										313
314					安山岩 (均質)	暗赤灰	Ba																		314				
315																									315				
316		-281.18	316.40																						316				
317																									317				
318					安山岩 (角礫質)	赤褐	Bb																		318				
319																									319				
320																									320				

※硬さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (垂金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (垂金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13. 6(63の17)

GL = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ							※コアの形状						※断断面の性状					標尺 (m)						
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土	細	岩	短	柱	長		砂	片	柱	柱	状	状
321				▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	赤褐	Bb																				320. 65～323. 15mはφ5～30cmの角礫が卓越する。大きな角礫は暗赤灰色～暗灰色を呈し、金属音を発する。割れ目面は明灰色化している。	321				
322			▽▽▽▽▽																										322. 40mに45°の割れ目があり、面は明灰色化しているが付着物はない。 322. 75mに65°の割れ目があり、面は明灰色化しているが付着物はない。	322		
323			▽▽▽▽▽																											323		
324			▽▽▽▽▽																											324		
325			▽▽▽▽▽																										325			
326			▽▽▽▽▽																										326			
327			▽▽▽▽▽																										327			
328			▽▽▽▽▽																										328. 00～328. 20mは50°の平行割れ目により岩片状コアとなる。 328. 70～328. 85mは50°の平行割れ目により細片状コアとなる。面は明灰色化しているが付着物はほとんどない。	328		
329			▽▽▽▽▽																											329		
330			▽▽▽▽▽																										332. 15～332. 70mは角礫化がやや進み、φ1～3cmで境界が明瞭な角礫が卓越する。	330		
331			▽▽▽▽▽																						331							
332			▽▽▽▽▽																						332							
333			▽▽▽▽▽																						335. 30mに50°の割れ目があり、面は赤褐色化してにぶい光沢があり、明灰色軟質鉱物が少量付着する。	333						
334			▽▽▽▽▽																							334						
335			▽▽▽▽▽																							335						
336			▽▽▽▽▽																						339. 45～344. 70mは自破碎状の中粒輝石安山岩。角礫間は赤色化しているが、角礫は暗色・緻密で境界は明瞭	336						
337			▽▽▽▽▽																							337						
338			▽▽▽▽▽																							338						
339		-304. 23	339. 45	▽▽▽▽▽																					339. 45～344. 70mは自破碎状の中粒輝石安山岩。角礫間は赤色化しているが、角礫は暗色・緻密で境界は明瞭	339						
340				▽▽▽▽▽																						340						

※硬さ  
 A:ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 B:中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 C:中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。  
 D:軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。  
 E:軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。  
 F:手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状  
 I:長柱状(30cm以上の円柱状コア)  
 II:柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III:短柱状(全周を有し10cm未満)  
 IV:岩片状(全周のない4cm以上の岩片)  
 V:細片状(長さ4cm未満の岩片)  
 VI:土砂状

※断断面の性状  
 1.割目が新鮮。  
 2.付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3.付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4.付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5.付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の18)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ							※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)				
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1	記 事					
																									土細岩短柱長砂片片柱柱状状状状状					
341				▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																				全体的には亜金属音を発するが、角礫自体は金属音を発する。 45~60°の割れ目が発達する。 339.60mに70°の割れ目があり、岩片状となる。面は青緑色軟質鉱物が付着し幅1mmの褐色砂混じりシルトを挟む。 341.20mに60°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢がある。青緑色軟質鉱物が少量付着し、面に沿ってフィルム状に剥離し易い。 342.10mに60°の割れ目があり、面は暗赤褐色化して光沢がある。青緑色軟質鉱物が少量付着し、面に沿ってフィルム状に剥離し易い。 342.55mに45°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢と不明瞭な条線がある。付着物はほとんどないが、面に沿ってフィルム状に剥離し易い。 344.40mに45°の割れ目があり、面はほぼ新鮮であるが、幅1~2mmの褐色砂混じりシルトを挟む。 344.70~345.40mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。全般に赤色化し、角礫の境界は不明瞭。全般に亜金属音を発する。 下層との境界は漸移的で密着している。 345.40~347.10m：凝灰角礫岩。赤色化したシルト~細粒砂サイズの基質中にφ1~3cm、最大約8cmの角礫を含む。礫分40~60%。礫種は細粒~中粒輝石安山岩で、赤褐色~黄褐色~灰色を呈する。全般に亜金属音を発する。 下層との境界は約30°で密着している。 347.10~351.85m：安山岩(角礫質)。角礫化の弱い中粒輝石安山岩。赤色化していないものの角礫の境界は不明瞭で、全般に亜金属音を発する。割れ目は少なく、長柱状コアが連続する。 349.20mに25°の割れ目があり、面は新鮮で明灰色軟質鉱物が少量付着する。 下層との境界は約40°で密着している。 351.85~354.70m：凝灰角礫岩。弱く褐色化したシルト~細粒砂サイズの基質中にφ1~5cm、最大約10cmの角礫を含む。礫分40~60%。礫種は暗色の細粒~中粒輝石安山岩が主体で、赤褐色や黒色多孔質な安山岩も点在する。全般に亜金属音を発する。割れ目は少なく、あってもほぼ水平で、面は新鮮である。 下層との境界は約30°で密着している。 354.70~362.45m：安山岩(角礫質)。354.70~359.05mは角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。赤色化は弱く、角礫は暗色を呈するものの境界は不明瞭で、全般に亜金属音を発する。 359.05~362.45mは自破砕状の細粒~中粒輝石安山岩。角礫は暗色・緻密で境界は明瞭。全般に亜金属音を発するが、大きな角礫のなかには金属音を発するものがある。 359.10mに70°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢がある。青緑色軟質鉱物が少量付着し、幅約2mmはフィルム状に剥がし易い。	341		
342				▽▽▽▽▽		暗赤褐																							342	
343				▽▽▽▽▽		暗赤褐																								343
344			309.48	344.70	▽▽▽▽▽																						344			
345			310.18	345.40	▽▽▽▽▽																						345			
346					△△△△△	暗赤褐																					346			
347			311.88	347.10	△△△△△																						347			
348					▽▽▽▽▽	明緑灰																					348			
349					▽▽▽▽▽																						349			
350					▽▽▽▽▽	青灰																					350			
351					▽▽▽▽▽																						351			
352			316.63	351.85	△△△△△	暗青灰																					352			
353					△△△△△	明緑灰																					353			
354					△△△△△	暗赤褐																					354			
355			319.48	354.70	△△△△△																						355			
356					▽▽▽▽▽	暗青灰																					356			
357					▽▽▽▽▽																						357			
358					▽▽▽▽▽	赤灰																					358			
359			323.83	359.05	▽▽▽▽▽	青黒																					359			
360					▽▽▽▽▽	黒褐																					360			

※硬さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の19)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ							※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1	記事	
								状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状							
361				▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	青黒																				361
362		-327. 23	362. 45	▽▽▽▽		黒褐																			362	
363		-328. 43	363. 65	△△△△		赤褐																			363	
364				△△△△		オリブ灰																			364	
365				△△△△																					365	
366				△△△△																					366	
367				△△△△																					367	
368				△△△△																					368	
369				△△△△		オリブ灰																			369	
370				△△△△			Bb																		370	
371				△△△△																					371	
372				△△△△	凝灰角礫岩																				372	
373				△△△△																					373	
374				△△△△																					374	
375				△△△△		青灰																			375	
376				△△△△																					376	
377				△△△△																					377	
378				△△△△																					378	
379				△△△△																					379	
380				△△△△																					380	

※硬さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※ 硬 さ						※ コアの形状						※ 断裂面の性状					標尺 (m)					
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		記 事				
381		-346. 53	381. 75	△	凝灰角礫岩	オリブ灰	Bb																		381. 75～383. 85mは赤色化し、暗赤褐色の角礫が増えるなど、下層との漸移的な岩相になる。		381			
382			△	赤褐																							382			
383				△		オリブ褐																						383		
384		-348. 63	383. 85	△																								384		
385				△		赤	安山岩 (角礫質)	Bb																			383. 85～389. 15mは著しく赤色化したシルト～細粒砂サイズの基質中にφ1～3cm、最大約10cmの角礫を含む。礫分40～60%。 礫種は暗赤褐色～暗青灰色の輝石安山岩及び明褐色で境界が不明瞭な輝石安山岩、黄灰色火山岩 (デイサイト～流紋岩質) など多様である。 全般に亜金属音であるが、暗色の大きな角礫の中には金属音を発するものがある。 割れ目は少なく、あっても20° 以下の低角度の割れ目が卓越し、面は概ね新鮮である。	385		
386				△																									386	
387				△																									387	
388				△																										388
389		-353. 93	389. 15	△																									388. 80mに55° の割れ目があり、面は暗灰色～暗褐色化し微細な鉱物が晶出している。 下層との境界は約40° で密着している。 389. 15～409. 15m: 安山岩 (角礫質)。 角礫化の弱い細粒～中粒輝石安山岩が卓越し、所々に幅20～50cmの角礫化のやや進んだ部分を挟む。 角礫は暗色、やや多孔質で境界が不明瞭なものが卓越するが、緻密で境界が明瞭なものを混在する。 全般に亜金属音であるが、緻密で大きな角礫は金属音を発する。 割れ目は少なく長柱状コアが連続する。	389
390			▽																									390		
391				▽																										391
392				▽																										392
393				▽	暗青灰	安山岩 (角礫質)	Bb																				397. 30～397. 80mは70° のわん曲した割れ目が交差し、半柱状コアとなる。面はやや黒褐色化し所々に黄褐色シルトが付着する。	393		
394				▽																								394		
395				▽																									395	
396				▽	オリブ褐																								396	
397				▽																									397	
398				▽																									398	
399				▽																									399	
400				▽																									400	

- ※ 硬 さ
  - A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
  - F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。
- ※ コアの形状
  - I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI: 土砂状
- ※ 断裂面の性状
  - 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の21)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	岩 級 区 分	※硬 さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)		
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	記 事							
								状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	5	4	3	2	1			
401				▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰																		404. 65mに50° の割れ目があり、面はほぼ新鮮だが水平に近い条線が認められ、平滑になっている。	401		
402			▽▽▽▽																							402	
403				▽▽▽▽																						403	
404				▽▽▽▽																						404	
405				▽▽▽▽																						405	
406				▽▽▽▽	オリブ褐																				406		
407				▽▽▽▽																					407		
408		-372. 88	408. 10	▽▽▽▽																					408		
409		-373. 93	409. 15	▽▽▽▽	凝灰角 礫岩		Bb																	下層との境界は漸移的で密着している。 409. 15~425. 10m:凝灰角礫岩。 赤色化したシルト~細粒砂サイズの基質中にφ1~5cm、最大約12cmの角礫を含む。礫分30~50%。 礫種は細粒~中粒輝石安山岩で、暗色・緻密で境界が明瞭なもの、やや多孔質で境界が不明瞭なものが混在する。 所々に幅20~50cmの角礫化が弱い部分を挟む。 全般に亜金属音であるが、大きな角礫は金属音を発する。 割れ目は少なく長柱状~柱状コアが連続する。 410. 90mに40° の割れ目があり、面はやや明灰色化して不明瞭な条線が認められるが付着物はない。	409		
410			△△△△																								410
411				△△△△				暗赤褐																			411
412				△△△△																							412
413				△△△△																							413
414				△△△△																							414
415				△△△△																						415. 00~420. 00mは所々に60~80° の高角度の割れ目があり、面はやや明灰色化しているが付着物はほとんどない。	415
416				△△△△																							416
417				△△△△																							417
418				△△△△																							418
419				△△△△		暗青灰																		419			
420				△△△△																			419. 75mに70° の割れ目があり、面は明灰色化して部分的にフィルム状の白色鉱物が付着する。	420			

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p>※硬 さ</p> <p>A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。<br/>         B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。<br/>         C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。<br/>         D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。<br/>         E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。<br/>         F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。</p> | <p>※コアの形状</p> <p>I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)<br/>         II : 柱 状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)<br/>         III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)<br/>         IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)<br/>         V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)<br/>         VI : 土砂状</p> | <p>※断裂面の性状</p> <p>1. 割目が新鮮。<br/>         2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。<br/>         3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。<br/>         4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。<br/>         5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。</p> |
|---|---|---|

K-13.6(63の22)

G L = 35.22m

L = 1253.0m

標 尺 (m)	月 日	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	岩 級 区 分	※ 硬 さ						※ コアの形状						※ 断裂面の性状				標 尺 (m)	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	断裂面の性状					
421		-385.93	421.15	△	凝灰角礫岩	暗赤褐 ？ 暗青灰	Bb															420.20~422.40mは基質の赤色化が弱くなる。	421		
422						暗青灰																	421.15~421.30mは40~50°の平行割れ目により岩片状コアとなる。面はいずれも黒褐色化しているが付着物はほとんどない。	422	
423						暗青灰																	422.15mに50°の割れ目があり、面はほぼ新鮮だが水平に近い不明瞭な条線が認められる。 422.40~425.10mは基質の色調がオリーブ褐色に変化する。	423	
424						暗青灰																		424	
425		-389.88	425.10	▽		？																	下層との境界は漸移的で密着している。 425.10~446.60m：安山岩（角礫質）。 425.10~431.15mは角礫化のやや進んだ細粒～中粒輝石安山岩。 角礫は暗色・緻密で境界は明瞭。 全般に亜金属音であるが、大きな角礫は金属音を発する。 割れ目は少なく柱状～長柱状コアが連続する。面は概ねやや白色～新鮮で付着物はほとんどない。	425	
426					？																	425.10~433.60mは角礫間は赤色化している。 全般に亜金属音であるが大きな角礫は金属音を発する。 割れ目は20°以下と50~60°のものが卓越し、面は新鮮～やや明灰色化する。	426		
427					オリーブ褐																		427		
428					？																		427.75mは45~50°の割れ目が交差し岩片状コアとなる。面はやや白色化するが付着物はほとんどない。 428.30mは20°の平行割れ目があり岩片状コアとなる。面はやや白色化するが付着物はほとんどない。	428	
429					？																			429	
430					？																			430	
431		-395.93	431.15	▽	安山岩 (角礫質)	？	Bb															430.85mに60°の割れ目があり、面は黒褐色化しオリーブ褐色シルトが少量付着する。	431		
432						暗青灰																	431.15~435.90mは角礫化の弱い細粒～中粒輝石安山岩。 角礫は暗色で、境界が明瞭なものと不明瞭なものが混在する。	432	
433						暗赤褐																		433	
434		-398.38	433.60	▽		暗青灰																		433.65mは60°と50°の割れ目が交差し岩片状コアとなるが、面は概ね新鮮である。	434
435						？																			435
436					オリーブ褐																			436	
437		-400.68	435.90	▽	？																		435.90~445.00mは角礫化がごく弱く均質に近い細粒～中粒輝石安山岩。 所々、角礫の間を概ね幅1~2mmの鉱物や暗緑色～黄灰色の軟質鉱物が充填している。 金属音を発する部分と亜金属音を発する部分とが混在する。 ほとんどの割れ目は黒褐色化し光沢がある。	437	
438					？																			438	
439					暗青灰																			439	
440					？																			440	

※ 硬 さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※ コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱 状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※ 断裂面の性状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13. 6(63の24)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)										
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土	細	岩	短	柱		長	砂	片	片	柱	柱	状	状	状	状
461					安山岩 (角礫質)	暗青灰 暗赤褐																										459.50~462.55m: 安山岩 (角礫質)。角礫化のやや進んだ細粒~中粒輝石安山岩。やや赤色化しているが、角礫は概ね暗色で、境界が明瞭なものとは不明瞭なものとの混在する。また、縁に沿いの幅2~4mmが黒色化した角礫も点状に散在する。全般的に亜金属音であるが、大きな角礫の中には金属音を発するものがある。461.30~461.50mは40~60°の割れ目が交差し岩片状コアとなる。面は黒褐色化し、青緑色軟質鉱物が少量付着する。461.75mは50~70°の割れ目が交差し岩片状コアとなる。面は暗赤褐色化し光沢があり、青緑色軟質鉱物が少量付着する。下層との境界は漸移的に密着している。	461		
462		-427.33	462.55																																
463					凝灰角礫岩	暗青灰 褐																									462.55~464.70m: 凝灰角礫岩。細粒砂サイズの基質中にφ1~3cm、最大約7cmの角礫を含む。礫分50~70%。礫種は細粒~中粒輝石安山岩で、暗青灰~黄褐色と様々な色調を呈し、境界は概ね明瞭である。全般的に亜金属音であるが、φ4~7cmの暗色・緻密な角礫は金属音を発する。	463			
464		-429.48	464.70																																
465						暗青灰																									下層との境界は漸移的に密着している。464.70~478.75m: 安山岩 (角礫質)。464.70~468.25mは角礫化のやや進んだ細粒~中粒輝石安山岩。角礫はφ3~5cmで暗色のものとφ1~3cmで褐色のものとの混在する。また、暗色の角礫は縁に沿いの幅2~4mmが黒色化したものが卓越する。全般的に亜金属音であるが、大きな角礫の中には金属音を発するものがある。割れ目は少なく、面は概ね新鮮である。464.70~476.00mは黄褐色の角礫が混入する。全般的に亜金属音を発する。割れ目は少なく概ね20°以下である。	465			
466						褐灰																													
467																																			
468		-433.03	468.25																																
469						暗青灰																									468.25~470.00mは角礫化がごく弱く均質に近い細粒~中粒輝石安山岩。全般的に金属音を発する。割れ目は30~50°が卓越し、面は黒褐色化して光沢がある。468.80mに40°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、条線が認められる。	469			
470		-434.78	470.00				Bb																												
471						暗青灰																									470.00~472.90mは角礫化のやや進んだ細粒~中粒輝石安山岩。角礫は暗色・緻密で境界が明瞭なものとは黒色・やや多孔質で境界が不明瞭なものとの混在する。全般的に亜金属音であるが、角礫の中には金属音を発するものがある。	471			
472					安山岩 (角礫質)	褐																													
473		-437.68	472.90																												472.85mに75°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、ほぼ水平な条線が認められ、幅1mmのオリーブ褐色シルトを挟む。	473			
474						暗青灰																									472.90~475.00mは角礫化がごく弱く均質に近い細粒~中粒輝石安山岩。全般的に金属音を発する。割れ目は30~50°が卓越し、面は黒褐色化して光沢がある。473.45~473.60mはわん曲した高角度の割れ目があり、一部が岩片状となる。面は黒褐色化して光沢があり、暗緑褐色シルトが付着する。	474			
475		-439.78	475.00																												475.00~478.75mは角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。角礫は暗色、やや多孔質でコア肌は粗く、境界は不明瞭。	475			
476						暗青灰																													
477																																			
478						褐																									478.45mに70°の割れ目があり、面は黒褐色化して暗緑褐色シルトが付着する。下層との境界は漸移的に密着している。	478			
479		-443.53	478.75		安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																							478.75~482.95m: 安山岩 (均質) 細粒~中粒輝石安山岩。全般的に亜金属音を発する。割れ目は黒色化して光沢のあるものが卓越する。479.20mに85°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、20~30°の不明瞭な条線が認められる。面に沿ってフレック状に剥離し易く、暗緑褐色シルトが少量付着する。	479				
480																																			

※硬さ  
 A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI: 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13. 6 (63の25)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状	記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I			
481				▽▽▽▽	安山岩 (均質)		Ba													480. 00~481. 40mは潜在割れ目が網目状に発達する。固着割れ目にはハンマーの軽打で分離するものもあり、面は黒褐色化して光沢がある。	481	
482				▽▽▽▽																482. 35mに25°の割れ目があり、面は黒褐色化して高角度の条線が認められ、褐色シルトが付着している。下層との境界は漸移的で密着している。	482	
483		-447. 73	482. 95	▽▽▽▽																482. 95~537. 05m : 安山岩 (角礫質)。 482. 95~486. 30mは角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。角礫は暗色、やや多孔質で境界は不明瞭なものが卓越する。全般に亜金属音を発する。 482. 95~514. 80mは角礫は暗色、やや多孔質で斜長石斑晶が目立ち、境界はやや不明瞭なものが卓越する。所々φ1~2cmの角礫が卓越する部分を挟む。 全般に亜金属音であるが、φ5cm以上の緻密角礫は金属音を発する。 割れ目は少なく概ね20°以下で面は新鮮である。 484. 20~484. 80mは20~60°の割れ目が発達する。面は黒褐色化しているが付着物は少ない。 484. 85~485. 15mは安山岩 (均質)の角礫。	483	
484				▽▽▽▽		暗青灰															484	
485				▽▽▽▽																	485	
486				▽▽▽▽																486. 30~491. 00mは角礫化がごく弱く均質に近い細粒~輝石安山岩。 全般に金属音を発する。 割れ目は20~50°が卓越し、面は黒褐色化し光沢がある。	486	
487				▽▽▽▽																	487	
488				▽▽▽▽																488. 15mに80°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、ほぼ水平な条線が認められ、幅1mmのオリープ褐色シルトを挟む。	488	
489				▽▽▽▽																489. 10~489. 90mは固着割れ目が網目状に発達する。 489. 30mに75°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、ほぼ水平な条線が認められ、褐色シルトが付着する。	489	
490				▽▽▽▽																	490	
491		-455. 78	491. 00	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)		Bb													491. 00~497. 15mは角礫化のやや進んだ中粒輝石安山岩。角礫は暗色で斜長石斑晶が目立ち、境界が明瞭なものと不明瞭なものとの混在する。所々にφ1~2cmの角礫が卓越する部分を挟む。 全般に亜金属音を発する。 割れ目は少なく、面も概ね新鮮である。	491	
492				▽▽▽▽																	492	
493				▽▽▽▽		暗青灰															493	
494				▽▽▽▽																	494	
495				▽▽▽▽																494. 90mに80°の割れ目があり、面は黒褐色化してやや光沢があり、ほぼ水平な条線が認められ、黄灰色軟質鉱物がわずかに付着する。 495. 45~495. 65mは緻密な角礫が密集し金属音を発する。	495	
496				▽▽▽▽		?															496	
497				▽▽▽▽																497. 15~499. 70mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。 φ10~30cmの緻密な角礫が卓越する。 全般には亜金属音であるが、角礫は金属音を発するものが多い。 割れ目は少なく、面も概ね新鮮である。	497	
498				▽▽▽▽		褐															498	
499				▽▽▽▽																	499	
500				▽▽▽▽																499. 70mに30°の割れ目があり、下面に沿った虫食い状空洞に黄灰色鉱物が晶出している。	500	

※硬さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13.6(63の26)

G L = 35.22m

L = 1253.0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	岩 級 区 分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		記 事
								状状状状状状						状状状状状状												
501				▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗青灰 ↳ 褐	Bb																499.70~504.80mは角礫化のやや進んだ細粒~中粒輝石安山岩。 角礫はやや多孔質で境界が不明瞭なものと、緻密で境界が明瞭なものが混在する。所々φ1~2cmの角礫が卓越し、凝灰角礫岩となる。 全般に亜金属音であるが、緻密な角礫は金属音を発する。 割れ目は少なく、面も概ね新鮮である。 501.60mに80°の割れ目があり、岩片状コアとなる。面は黒褐色化し、黄褐色シルトが付着する。	501		
502			▽▽▽▽▽																						502	
503				▽▽▽▽▽																						503
504				▽▽▽▽▽																						504
505		-469.58	504.80	▽▽▽▽▽																						505
506				▽▽▽▽▽	暗青灰 ↳ 褐	Bb																	504.80~506.85mは角礫化がごく弱く均質に近い細粒~中粒輝石安山岩。 全般に金属音を発する。 20~60°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢がある。 505.90mに75°の割れ目があり、面は黒褐色化して光沢があり、暗緑褐色シルトが少量付着する。  506.85~533.95mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。	506		
507		-471.63	506.85	▽▽▽▽▽																				507		
508				▽▽▽▽▽																					508	
509				▽▽▽▽▽																					509	
510				▽▽▽▽▽																					510	
511				▽▽▽▽▽																		511				
512				▽▽▽▽▽	暗青灰 ↳ 褐	Bb																	514.80~531.10mはやや多孔質な角礫が減少し、緻密な角礫が卓越するようになり、境界が明瞭なものと不明瞭なものと混在する。 515.20~515.95mは角礫間に葉理をもつ暗灰色~灰色シルトが断片的・不規則に挟まれる。また、角礫は縁に沿って幅2~4mmが暗褐色化したものが点在する。  516.50~516.80mは安山岩(均質)の角礫だが、境界は不明瞭。	512		
513				▽▽▽▽▽																				513		
514				▽▽▽▽▽																					514	
515		-479.58	514.80	▽▽▽▽▽																					515	
516				▽▽▽▽▽																					516	
517				▽▽▽▽▽	暗青灰 ↳ 褐灰	Bb																		517		
518				▽▽▽▽▽																				518		
519				▽▽▽▽▽																				519		
520				▽▽▽▽▽																				520		

※硬さ  
A:ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
B:中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
C:中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。  
D:軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。  
E:軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。  
F:手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状  
I:長柱状(30cm以上の円柱状コア)  
II:柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
III:短柱状(全周を有し10cm未満)  
IV:岩片状(全周のない4cm以上の岩片)  
V:細片状(長さ4cm未満の岩片)  
VI:土砂状

※断裂面の性状  
1.割目が新鮮。  
2.付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
3.付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
4.付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
5.付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の27)

GL = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)	記事					
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1							
521					安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																								
522																															
523																															
524																															
525																															
526																															
527																															
528																															
529																															
530																															
531					安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																								
532																															
533																															
534																															
535																															
536																															
537																															
538																															
539																															
540																															

- ※硬さ
  - A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
  - F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。
- ※コアの形状
  - I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI: 土砂状
- ※断裂面の性状
  - 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※ 硬 さ						※ コアの形状						※ 断 裂 面 の 性 状					標尺 (m)																				
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土	細	岩	短	柱		長	砂	片	片	柱	柱	状	状	状	状	状	5	4	3	2	1				
541				V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																			542. 05~542. 35mは幅1mm前後の暗緑色石英を挟む潜在割れ目が発達し、割れ目沿いの虫食い状空洞を黄灰色石英や石英が充填している。	541																		
542			V																										543. 15~546. 50mは、60~80° と20~45° の割れ目が交差し、短柱状~岩片状コアが卓越する。いずれの割れ目も黒褐色化し光沢がある。	542															
543			V																												下層との境界は漸移的で密着している。	543													
544			V																														546. 70~576. 75m : 安山岩 (角礫質)。 546. 70~547. 90mは角礫化の弱い中粒輝石安山岩。暗赤色化し、角礫の境界は不明瞭でやや多孔質。	544											
545			V																																547. 90~549. 00mは角礫化のやや進んだ中粒輝石安山岩。角礫はやや多孔質で、境界部に沿った幅2~4mmが暗褐色している。	545									
546			V																																		549. 00~576. 75mは角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。角礫は境界が不明瞭なものが卓越するが、所々にφ1~2cmで明色あるいは暗色を呈し境界が明瞭な角礫も混在する。全般に亜金属音である。割れ目は少なく、あっても面は新鮮である。	546							
547	-511. 48	546. 70	V	暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Bb																			553. 80mに小規模な虫食い状空洞があり、明緑灰色軟質鉱物が少量付着する。	547																			
548	-512. 68	547. 90	V	暗青灰																								557. 95mに60° の割れ目があり、面はほぼ新鮮であるが、不明瞭な条線が認められる。	548																
549			V	褐																											549														
550	-514. 78	550. 00	V																														550												
551			V																																551										
552			V																																		552								
553			V																																				553						
554			V																																						554				
555			V																																								555		
556			V																																										556
557			V				オリ ブ灰																																						
558			V																						558																				
559			V																								559																		
560			V																										560																

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <p>※ 硬 さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。</li> <li>B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。</li> <li>C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。</li> <li>D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。</li> <li>E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。</li> <li>F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。</li> </ul> | <p>※ コアの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)</li> <li>II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)</li> <li>III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)</li> <li>IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)</li> <li>V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)</li> <li>VI : 土砂状</li> </ul> | <p>※ 断 裂 面 の 性 状</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 割目が新鮮。</li> <li>2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。</li> <li>3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。</li> <li>4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。</li> <li>5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。</li> </ol> |
|---|--|--|

K-13. 6(63の29)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)			
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1					
561					安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																						
562																													
563																													
564																													
565																													
566																													
567																													
568																													
569																													
570																													
571																													
572																													
573		-537.68	572.90			暗青灰 褐																							
574		-538.78	574.00			暗青灰 暗赤褐																							
575		-539.78	575.00			暗青灰																							
576		-540.78	576.00			暗赤褐																							
577		-541.43 -541.53	576.65 576.75		安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																						
578		-543.33 -543.48	578.55 578.70			暗青灰 暗赤褐																							
579		-544.28	579.50		安山岩 (角礫質)	暗青灰 灰オリ ーフ	Bb																						
580																													

566. 10~566. 35mは65°と35°~45°の割れ目が交差し、岩片状となる。面はいずれも黒褐色化し明緑灰色の軟質鉱物が少量付着する。

570. 25mに70°の割れ目があり、面は黒褐色化し明緑灰色軟質鉱物が少量付着する。

574. 00~575. 00mは弱く赤色化している。

575. 00~576. 00mは角礫化がごく弱く均質に近い。

576. 00~576. 65mは赤色化し、角礫と基質の境界は不明瞭である。下層との境界は漸移的で密着している。

576. 75~578. 55m：安山岩（均質）。中粒輝石安山岩。40~50°の割れ目が卓越し、面は黒褐色化して光沢がある。

下層との境界は漸移的で密着。  
578. 55~643. 80m：安山岩（角礫質）。578. 55~590. 40mは角礫化の弱い細粒~中粒輝石安山岩。角礫は暗色で境界が不明瞭なものが卓越する。全般に亜金属音を発する。

- ※硬さ
  - A：ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。
  - B：中打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。
  - C：中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難（亜金属音）。
  - D：軽打で割れ、ナイフで傷がつく（亜金属音）。
  - E：軽打で割れ、ナイフでけずれる（だく音）。
  - F：手で割れ、ナイフがつきささる程度以下（だく音）。
- ※コアの形状
  - I：長柱状（30cm以上の円柱状コア）
  - II：柱状（10cm以上30cm未満の円柱状コア）
  - III：短柱状（全周を有し10cm未満）
  - IV：岩片状（全周のない4cm以上の岩片）
  - V：細片状（長さ4cm未満の岩片）
  - VI：土砂状
- ※断裂面の性状
  - 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する（厚さ0.5mm以上について記載）。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する（厚さ0.5mm以上について記載）。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の30)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)			
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1					
581																													581
582																													582
583																													583
584							Bb																						584
585																													585
586																													586
587																													587
588																													588
589																													589
590																													590
591																													591
592																													592
593																													593
594																													594
595																													595
596																													596
597																													597
598																													598
599																													599
600																													600

- ※硬さ
- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
  - F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

- ※コアの形状
- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI : 土砂状

- ※断裂面の性状
- 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の31)

GL = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		
601				▽▽▽▽▽																					601	
602				▽▽▽▽▽																				602. 10~602. 30mは30~50° の割れ目が交差し、岩片状となる。面は明灰色化し、褐色シルトがわずかに付着する。	602	
603				▽▽▽▽▽																					603	
604				▽▽▽▽▽																					604	
605				▽▽▽▽▽																					605	
606				▽▽▽▽▽																					606	
607				▽▽▽▽▽																				607. 10~607. 40mは40~50° の割れ目が発達し短柱状となるが、面は概ね新鮮で付着物もほとんどない。	607	
608				▽▽▽▽▽																				608. 20~608. 90mは85° のわん曲した割れ目により半柱状となるが、面は新鮮で付着物もほとんどない。	608	
609				▽▽▽▽▽																					609	
610				▽▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	オリ ブ褐	Bb																		610	
611				▽▽▽▽▽																				610. 30~611. 65mは40~50° と75~85° の割れ目が交差し、岩片状コア主体となる。面は部分的に明灰色化しているが付着物はほとんどない。 610. 90mに50° の割れ目があり、面は明灰色で褐色シルトが少量付着する。	611	
612				▽▽▽▽▽																				612. 10~613. 10mは60~70° の割れ目が卓越する。面は概ね明灰色化しているが付着物はほとんどない。	612	
613				▽▽▽▽▽																					613	
614				▽▽▽▽▽																					614	
615				▽▽▽▽▽																					615	
616				▽▽▽▽▽																				616. 30~616. 60mは60° と20~30° の割れ目が交差し、細片状となる。面は暗褐色化しているが付着物はほとんどない。	616	
617				▽▽▽▽▽																					617	
618				▽▽▽▽▽																					618	
619				▽▽▽▽▽																				619. 40~619. 90mは80° と30~40° の割れ目が交差し、短柱状~半柱状となるが、面は概ね新鮮で付着物もない。	619	
620				▽▽▽▽▽																					620	

※硬さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の32)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ											※コアの形状					※断裂面の性状					記事	標尺 (m)		
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1								
																			土	細	岩	短	柱	長	砂	片	柱	柱			状	状
621					安山岩 (角礫質)	オリブ褐	Bb																				620. 35~620. 55mは40~50°の割れ目が交差し、岩片状となる。面は明灰色化しているが付着物はほとんどない。	621				
622																													621. 00~621. 20mは70°の平行割れ目により、岩片状となる。面は暗褐色化し、白色鉱物がわずかに点在する。	622		
623																															623	
624																																624
625																																625
626																																626
627																																627
628																															627. 60~628. 80mは70~85°と45~60°の割れ目が交差し、短柱状~半柱状コアが主体となる。45~60°の面は明灰色化しているが、70~85°の面は概ね新鮮で、いずれの面も付着物はほとんどない。	628
629																																629
630																															629. 60~630. 00mは80°と30~50°の割れ目が交差し、岩片状となる。面は明灰色化しているが付着物はほとんどない。	630
631		-595. 78	631. 00																												631. 00~631. 85mはφ1~3cmの角礫が主体となり、同質だが赤褐~紫灰色を呈する角礫が混じる。	631
632		-596. 38	631. 60				Cb																					631. 85~643. 80mは角礫化がやや進んだ中粒~粗粒輝石安山岩。角礫は暗色・緻密で境界は明瞭。全般に亜金属音であるが、一部の大きな角礫は金属音を発する。	632			
633		-596. 78	632. 00				Bb																					631. 85mに80°の割れ目があり、幅1~2mmの褐色粘土を挟む。面は平滑で、不明瞭な条線が認められる。割れ目沿いは脆弱で、割れ目面と平行に剥離しやすい。周辺は割れ目が発達して細片状となり、黄褐色~褐色シルトが付着している。	633			
634							暗青灰																					634. 50~635. 30mは角礫化は弱い40°前後の割れ目が発達し、岩片状となる。面は部分的に暗褐色に変色しているが付着物はない。	634			
635		-600. 08	635. 30																									635. 40mに75°の褐色割れ目があり、黄褐色~褐色シルトが少量付着している。周辺は角礫間が脆弱化し細片状となる。	635			
636		-601. 18	636. 40				Cb																					636. 20mに70°の割れ目があり、黄褐色~褐色シルトが少量付着している。周辺は角礫間が脆弱化し細片状となる。	636			
637							暗オリブ																					636. 50~636. 70mは20~50°の割れ目が交差し、岩片状となる。面は暗褐色化しているが付着物はほとんどない。	637			
638							Bb																					637. 50mに80°の割れ目があり、幅1mmの黄褐色~褐色鉱物片混じりシルトが付着している。面は平滑で暗褐色化しているが、条線は不明瞭。周辺は割れ目が発達して岩片状となる。	638			
639																												637. 70~638. 25mは20~60°の割れ目が交差し、岩片状となる。面は暗褐色化しているが付着物はほとんどない。	639			
640																													640			

- ※硬さ
- A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
  - F: 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。

- ※コアの形状
- I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI: 土砂状

- ※断裂面の性状
- 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13. 6(63の33)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1	
641					安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																	640. 10~642. 95mは角礫化がやや進んでいるが、割れ目は少ない。	641
642						暗オリーブ																			641. 20~641. 60mは70°の割れ目に沿って岩片状となる。面は暗褐色化しているが、付着物はほとんどない。
643					安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																下層との境界は漸移的で密着している。	644	
644		-608. 58	643. 80																						
645		-610. 28	645. 50		安山岩 (均質)	暗青灰	Bb																下層との境界は漸移的で密着している。	646	
646																									
647					安山岩 (角礫質)	暗オリーブ灰	Bb																649. 70mに65°の割れ目があり、周辺は岩片状となる。面は黒褐色化しているが、付着物はほとんどない。649. 95mに60°の割れ目があり、褐色シルトが少量付着する。面は黒褐色化し、不明瞭な条線が認められる。周辺は岩片状となる。650. 00~656. 30mは割れ目が少なく、柱状~長柱状コアが連続する。	651	
648																									
649					安山岩 (角礫質)	暗青灰	Bb																656. 30~656. 90mは80°の割れ目により、岩片状となる。面は部分的に黒褐色化し、褐色シルトが少量付着する。部分的に条線が認められる。656. 90~657. 90mは60~80°と30~50°の割れ目が交差し、岩片状~細片状コア主体となる。657. 90~658. 50mは角礫化がごく弱く均質に近い。概ね金属音を発するが、割れ目も発達する。658. 60~658. 90mは70°の割れ目により、細片状となる。面は部分的に黒褐色化し、褐色シルトが少量付着する。	656	
650		-620. 78	656. 00																						

※硬さ

- A: ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI: 土砂状

※断裂面の性状

1. 割目が新鮮。
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



標 尺 (m)	月 日	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	岩 級 区 分	※硬 さ						※コアの形状						※断 裂 面 の 性 状				標 尺 (m)	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2		1
681		-645.08	680.30	V	安山岩 (均質)	暗灰	Ba																		
		-646.53	681.75	V	安山岩 (角礫質)	暗灰 オリブ 褐	Bb																		
682				V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																		
683				V																					
684				V																					
685				V																					
686				V																					
687				V																					
688				V																					
689				V																					
690				V																					
691				V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																		
692				V																					
693				V																					
694				V																					
695				V																					
696				V																					
697				V																					
698				V																					
699				V																					
700				V																					

- ※硬 さ
- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E : 軽打で割れ、ナイフではずれる (だく音)。
  - F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

- ※コアの形状
- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II : 柱 状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI : 土砂状

- ※断  
裂  
面  
の  
性  
状
- 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の36)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状					※断裂面の性状					記事	標尺 (m)							
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2			1						
701				▽▽▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																					700. 85mに80° の割れ目があり、面は黒褐色化しているが、付着物はほとんどない。	701			
702			▽▽▽▽▽																											702		
703				▽▽▽▽▽																											703	
704				▽▽▽▽▽																											704	
705				▽▽▽▽▽																											705	
706				▽▽▽▽▽																											706	
707				▽▽▽▽▽																											707	
708				▽▽▽▽▽																											708	
709				▽▽▽▽▽																											709. 15mに70° で間隔約1cmの平行割れ目があり、面はやや黒褐色化しているが、付着物はほとんどない。	709
710				▽▽▽▽▽																												710
711				▽▽▽▽▽																												711
712				▽▽▽▽▽																												712
713				▽▽▽▽▽																												713
714				▽▽▽▽▽																												714
715				▽▽▽▽▽																												715
716				▽▽▽▽▽																								716				
717				▽▽▽▽▽																								716. 60mに35° の割れ目があり、面は黒色化して高角度の条線が認められるが、付着物はない。 717. 15mに85° の割れ目があり、岩片状コアとなる。面は黒色化しており、褐色シルトが少量付着する。	717			
718				▽▽▽▽▽																									718			
719				▽▽▽▽▽																								719				
720				▽▽▽▽▽																								720				

- ※硬さ
- A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
  - C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
  - D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
  - E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
  - F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

- ※コアの形状
- I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
  - II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
  - III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)
  - IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
  - V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
  - VI: 土砂状

- ※断裂面の性状
1. 割目が新鮮。
  2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
  4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の37)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※ 硬 さ						※ コアの形状						※ 断裂面の性状					記事	標尺 (m)				
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1						
														土砂状	岩片状	短柱状	細柱状	長柱状	片状											
721				V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																		<p>723. 55mに60° の割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、不明瞭ながら約45° の条線が認められるが、付着物はほとんどない。</p> <p>733. 70~734. 45mは80~85° のわん曲した割れ目があり、岩片状コア主体となる。面は暗緑色化し所々に白色自形鉱物が晶出している。</p> <p>734. 90~737. 75mは所々軽微な自破砕状で、角礫間は暗緑色鉱物により充填・固着している。</p>	721				
722				V																									722	
723				V																										723
724				V																										724
725				V																										725
726				V																										726
727				V																										727
728				V																										728
729				V																										729
730				V																										730
731				V																										731
732				V																										732
733				V																										733
734				V																										734
735				V																						735				
736				V																						736				
737				V																						737				
738				V																						738				
739				V																						739				
740				V																						740				

※ 硬 さ

- A: ハンマーによる独打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※ コアの形状

- I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II: 柱 状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI: 土砂状

※ 断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の38)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状 図	地質 名	色 調	岩級 区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)				
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1						
														土状	砂状	片状	柱状	柱状	長柱状											
741				V	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																			741. 10~741. 55mは軽微な自破砕状で、角礫間は暗緑色鉱物により充填・固着している。	741			
742			V																										742	
743			V																											743
744			V																											744
745			V																											745
746			V																											746
747			V																											747
748			V																											748
749			V																											749
750			V																											750
751			V																											751
752			V																											752
753			V																											753
754			V																											754
755			V																											755
756		-720. 58	755. 80	△	凝灰角 礫岩	暗褐 と 暗青灰 と 黄褐	Bb																			755. 40~755. 80mは下位に 向って斑晶の量が減少する。 755. 80~867. 80m：凝灰角礫岩。 暗褐色のシルトサイズ基質中に φ0. 5~2cm、最大約7cmの様 々な色調の安山岩角礫を含む。 割れ目は少ない。 756. 65mに70°の割れ目があり、 面は新鮮だが白色自形鉱物が 少量付着する。	756			
757			△																									757		
758				△																									758	
759				△																									759	
760				△																									759. 90mに60°の割れ目があり、 面は暗緑色化し幅1mmの白色 鉱物を挟む。	760

※硬さ  
A：ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。  
B：中打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。  
C：中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難（亜金属音）。  
D：軽打で割れ、ナイフで傷がつく（亜金属音）。  
E：軽打で割れ、ナイフでけずれる（だく音）。  
F：手で割れ、ナイフが付きささる程度以下（だく音）。

※コアの形状  
I：長柱状（30cm以上の円柱状コア）  
II：柱状（10cm以上30cm未満の円柱状コア）  
III：短柱状（全周を有し10cm未満）  
IV：岩片状（全周のない4cm以上の岩片）  
V：細片状（長さ4cm未満の岩片）  
VI：土砂状

※断裂面の性状  
1. 割目が新鮮。  
2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する（厚さ0.5mm以上について記載）。  
3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する（厚さ0.5mm以上について記載）。  
4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13. 6 (63の40)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		
781				△△△																					781	
782				△△△																					782	
783				△△△																					783	
784				△△△																					784	
785				△△△																					785	
786				△△△		暗褐																			786	
787				△△△		?																		786. 45mに60° の割れ目があり、面は暗赤褐色化して高角度の条線が認められるが、付着物はない。	787	
788				△△△																					788	
789				△△△																					789	
790				△△△	凝灰角礫岩	暗青灰	Bb																		790	
791				△△△																					791	
792				△△△		?																			792	
793				△△△																					793	
794				△△△		黄褐																			794	
795				△△△																					795	
796				△△△																					796	
797				△△△																					797	
798				△△△																				797. 50mに60° の割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、ほぼ水平の不明瞭な条線が認められるが、付着物はない。	798	
799				△△△																				798. 55mに60° の割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、高角度の条線が認められる。付着物はほとんどないが面に沿ってフィルム状に剥離し易い。	799	
800				△△△																				799. 45mに65° の割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、高角度の条線が認められるが、付着物はほとんどない。	800	

※硬さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。



K-13. 6(63の41)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土砂状	細片状	岩片状	短柱状	長柱状		
801				△△△																						801
802				△△△																						802
803				△△△																						803
804				△△△																						804
805				△△△																						805
806				△△△		暗褐																				806
807				△△△																						807
808				△△△																						808
809				△△△																						809
810				△△△	凝灰角礫岩	暗青灰	Bb																			810
811				△△△																						811
812				△△△																						812
813				△△△																						813
814				△△△		黄褐																				814
815				△△△																						815
816				△△△																						816
817				△△△																						817
818				△△△																						818
819				△△△																						819
820				△△△																						820

※硬さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の42)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		
821				△△△																				821. 10~825. 35mはφ0. 5~1cmの様々な色調の角礫を多く含む。	821	
822				△△△																					822	
823				△△△																					823	
824				△△△																					824	
825				△△△																					825	
826				△△△		暗褐																			826	
827				△△△																					827	
828				△△△																					828	
829				△△△																					829	
830				△△△	凝灰角礫岩	暗青灰	Bb																		830	
831				△△△																					831	
832				△△△																					832	
833				△△△																					833	
834				△△△		黄褐																			834	
835				△△△																					835	
836				△△△																					836	
837				△△△																					837	
838				△△△																					838	
839				△△△																				839. 05mに45°の割れ目があり、面は新鮮であるが少量の方解石が付着している。	839	
840				△△△																					840	

※硬さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。







K-13. 6 (63の46)

GL = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※ 硬 さ						※ コアの形状						※ 断 裂 面 の 性 状					標尺 (m)	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		記 事
901		-866.43	901.65	△△△		暗褐																				
902				△△△		暗青灰																				
903				△△△		暗赤褐																				
904				△△△																						
905				△△△		褐																				
906				△△△																						
907				△△△																						
908				△△△																						
909				△△△		青灰																				
910				△△△	凝灰角礫岩		Bb																			
911				△△△																						
912				△△△																						
913				△△△																						
914				△△△		赤灰																				
915				△△△																						
916				△△△																						
917		-881.53	916.75	△△△		暗赤褐																				
918				△△△		青黒																				
919				△△△		赤灰																				
920				△△△																						

※ 硬 さ  
 A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※ コアの形状  
 I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II : 柱 状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI : 土砂状

※ 断 裂 面 の 性 状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の47)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)					
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土	細	岩	短	柱			長	砂	片	柱	柱
921				△△△	凝灰角礫岩	暗赤褐	Bb																				921				
922			△△△	〃																								922			
923			△△△	青黒		〃																							923		
924			△△△	赤灰																									924		
925			△△△																							925					
926			△△△																							926					
927		-891. 53	926. 75	△△△	安山岩 (角礫質)	青黒	Ba																			927					
928			▽▽▽	〃																								928			
929			▽▽▽	褐																									929		
930			▽▽▽																										930		
931		-895. 68	930. 90	▽▽▽	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																				931				
932			▽▽▽	〃																									932		
933			▽▽▽																										933		
934		-898. 63	933. 85	▽▽▽		凝灰角礫岩		オリーフ灰	Cb																				934		
935		-899. 28	934. 50	△△△	〃		Bb																					935			
936			△△△	暗青灰	〃																							936			
937			△△△																									937			
938		-902. 63	937. 85	△△△	凝灰角礫岩	暗赤褐	Cb																				938				
939		-903. 33	938. 55	△△△		〃		Bb																				939			
940		-904. 08	939. 30	△△△		暗赤褐																						940			
				△△△		暗灰																									

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>※硬さ</p> <p>A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。</p> <p>B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。</p> <p>C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。</p> <p>D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。</p> <p>E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。</p> <p>F : 手で割れ、ナイフが付きささる程度以下 (だく音)。</p> | <p>※コアの形状</p> <p>I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)</p> <p>II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)</p> <p>III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)</p> <p>IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)</p> <p>V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)</p> <p>VI : 土砂状</p> | <p>※断裂面の性状</p> <p>1. 割目が新鮮。</p> <p>2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。</p> <p>3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。</p> <p>4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。</p> <p>5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。</p> |
|--|--|---|



















K-13. 6(63の56)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1			
1101				△△△	凝灰角礫岩	暗赤褐 緑灰 青灰	Bb																				1101
1102		-1067. 18	1102. 40	△△△	凝灰角礫岩	赤褐	Bb																			1102. 40~1104. 50mは基質・角礫ともに赤褐色化。	1102
1103				△△△	凝灰角礫岩	赤褐	Bb																			1103. 15mに60°の割れ目があり、面は暗緑色化して光沢があり、幅1mmの暗緑色軟質鉱物を挟む。	1103
1104		-1069. 28	1104. 50	△△△	凝灰角礫岩	赤褐	Bb																			1104. 50~1105. 85mは緑灰色の粗粒砂サイズ基質が主体で、角礫はわずかである。	1104
1105				△△△	凝灰角礫岩	緑灰	Bb																				1105
1106		-1070. 63	1105. 85	△△△	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																			1105. 85~1108. 90m: 安山岩 (均質)。細粒輝石安山岩。割れ目は30~50°が卓越し、面は概ね黒色化している。	1106
1107				VVV	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																				1107
1108				VVV	安山岩 (均質)	暗青灰	Ba																				1108
1109		-1073. 68	1108. 90	△△△	凝灰角礫岩	黒褐	Bb																			1108. 90~1109. 15m: 凝灰角礫岩。黒褐色のシルトサイズ基質中にφ6cmの安山岩角礫を含む。	1109
1109		-1073. 93	1109. 15	△△△	凝灰角礫岩	黒褐	Bb																			1109. 15~1109. 60m: 真岩。細片化しており、表面に光沢を有するものが多い。	1109
1109		-1074. 38	1109. 60	△△△	頁岩	緑灰 暗赤褐	Bb																			1109. 60~1113. 80m: 砂岩。中粒~粗粒砂岩。下位に向って粗粒化傾向。所々に堆積時の擾乱構造が認められる。割れ目はほとんどない。	1110
1110				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																				1110
1111				△△△	砂岩	灰白	Bb																				1111
1112				△△△	砂岩	灰白	Bb																				1112
1113		-1078. 23	1113. 45	△△△	砂岩	灰白	Bb																			1113. 15~1113. 45mは極粗粒で細礫混じり。	1113
1113		-1078. 58	1113. 80	△△△	砂岩	灰白	Bb																			1113. 45~1113. 80mは細粒で凝灰質。	1113
1114				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																			1113. 80~1119. 00m: 真岩。全体的に細片化しており、表面に光沢を有するものが多い。	1114
1114				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																			1115. 40~1115. 55mは凝灰質な細粒砂岩を挟む。	1114
1115				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																				1115
1116				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																				1116
1117				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																				1117
1118				△△△	頁岩	暗赤褐	Bb																				1118
1119		-1083. 78	1119. 00	△△△	砂岩	灰白	Bb																			1118. 30~1118. 60mは細粒砂岩を挟む。	1118
1119				△△△	砂岩	灰白	Bb																			1119. 00~1119. 80m: 砂岩。やや凝灰質な細粒砂岩。20~30°の葉理が認められる。	1119
1120		-1084. 58	1119. 80	△△△	頁岩	黒褐	Bb																			1119. 80~1120. 20m: 真岩。	1119
1120				△△△	頁岩	黒褐	Bb																				1120

※硬さ  
 A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI: 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。





K-13. 6 (63の58)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ							※コアの形状						※断裂面の性状	記事	標尺 (m)					
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5				4	3	2	1	
1141		-1105. 48	1140. 70		砂岩	灰白																					1140. 00~1140. 70mは中粒~極粗粒砂岩。約20°の葉理が認められる。 1140. 70~1141. 75mは細粒~極細粒砂岩。凝灰質部と泥質部とが互層し、約30°の葉理が認められる。割れ目面は新鮮。	1141
		-1106. 53	1141. 75			暗赤褐 緑灰																						
1142					頁岩	暗赤褐																				1141. 75~1142. 75m: 頁岩。 割れ目が発達し岩片状だが、割れ目面は概ね新鮮。	1142	
		-1107. 53	1142. 75																									
1143					砂岩	灰白																				1142. 75~1143. 35m: 砂岩。 中粒~極粗粒砂岩。	1143	
		-1108. 13	1143. 35																									
1144					頁岩	暗赤褐																				1143. 35~1144. 85m: 頁岩。 10~20°の割れ目が2~4cm間隔で発達するが、面は概ね新鮮。	1144	
		-1109. 63	1144. 85																									
1145					砂岩	緑灰 暗褐																				1144. 85~1149. 15m: 砂岩。 1144. 85~1145. 70mは細粒~極細粒砂岩。凝灰質部と泥質部とが互層し、20~30°の葉理が認められる。20~30°の割れ目が卓越し、面は概ね新鮮。 1145. 70~1149. 15mは中粒~粗粒砂岩。割れ目は少なく、面は新鮮。	1145	
		-1110. 48	1145. 70																									
1146					砂岩	灰白																				1147. 90mに幅3cmで30°の泥岩を挟む。	1146	
1147					砂岩	灰白																						1147
1148					砂岩	灰白																						1148
1149		-1113. 93	1149. 15		頁岩	暗赤褐																				1149. 15~1152. 90m: 頁岩。 5~15°の割れ目が2~4cm間隔で発達するが、面は概ね新鮮。	1149	
		-1114. 78	1150. 00																									
1150					頁岩	暗褐																				1150. 00~1150. 55mはやや凝灰質で、約15°の葉理が認められる。	1150	
		-1115. 33	1150. 55																									
1151					頁岩	暗褐																						1151
1152					頁岩	暗褐																						1152
1153					砂岩	灰白																				1152. 90~1154. 50m: 砂岩。 細粒~中粒砂岩。下位に向って粗粒化傾向。割れ目は少なく、面は新鮮。	1153	
		-1117. 68	1152. 90																									
1154					頁岩	暗褐																				1154. 50~1157. 20m: 頁岩。 10~20°の割れ目が2~4cm間隔で発達するが、面は概ね新鮮。	1154	
		-1119. 28	1154. 50																									
1155					頁岩	暗褐																						1155
1156					頁岩	暗褐																						1156
1157					頁岩	暗褐																						1157
		-1121. 98	1157. 20																									
1158					砂岩	灰白																				1157. 20~1158. 65m: 砂岩。 細粒~中粒砂岩。下位に向って粗粒化傾向。10~20°の泥質葉理が認められる。10~20°の割れ目が卓越し、面は新鮮。	1158	
		-1123. 43	1158. 65																									
1159					頁岩	暗褐																				1158. 65~1159. 35m: 頁岩。 割れ目は少なく、面は新鮮。	1159	
		-1124. 13	1159. 35																									
1160					砂岩	灰白																				1159. 35~1160. 00m: 砂岩。 細粒~中粒砂岩。	1160	
		-1124. 78	1160. 00																									

※硬さ  
 A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。  
 C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。  
 D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。  
 E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。  
 F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状  
 I: 長柱状(30cm以上の円柱状コア)  
 II: 柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III: 短柱状(全周を有し10cm未満)  
 IV: 岩片状(全周のない4cm以上の岩片)  
 V: 細片状(長さ4cm未満の岩片)  
 VI: 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6 (63の59)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)			
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	状	状	状	状	状			状	5	4
1161					頁岩	暗褐																					1160. 00~1163. 10m: 頁岩。 10~20° の割れ目が2~4cm間隔で発達するが、面は概ね新鮮。 所々に40° の凝灰質な葉理が認められる。	1161	
1162					頁岩	暗赤褐																						1162	
1163		-1127. 88	1163. 10		砂岩	暗褐																					1163. 10~1165. 45m: 砂岩。 1163. 10~1164. 75mは細粒~中粒砂岩、最上部はやや泥質。 割れ目面は概ね新鮮。	1163	
1164		-1128. 23	1163. 45			緑灰																							1164
1165					砂岩	灰白																					1164. 75~1165. 45mは中粒~極粗粒砂岩。所々に約30° の凝灰質な葉理が認められる。割れ目は少なく、面は新鮮。	1165	
1166		-1130. 23	1165. 45		頁岩	暗褐																					1165. 45~1175. 80m: 頁岩。 1165. 45~1170. 65mは5~15° の割れ目が4~8cm間隔で発達するが、面は概ね新鮮。	1166	
1167		-1131. 23	1166. 45			緑灰																						1166. 45~1166. 70mは細粒~粗粒砂岩を挟む。	1167
1168		-1131. 48	1166. 70		頁岩	暗褐																						1168	
1169						緑灰																						1168. 80~1169. 10mは細片化し、細片の表面は光沢がある。	1169
1170		-1134. 78	1170. 00		頁岩	暗褐																						1170	
1171						暗褐																						1170. 65~1175. 80mは5~15° の割れ目が2~4cmで発達し、岩片状~細片状コア主体となるが、面は概ね新鮮。	1171
1172					頁岩	黒褐																						1172	
1173						暗褐																							1173
1174					頁岩	暗褐																							1174
1175		-1139. 68	1174. 90			緑灰																							1175
1176		-1140. 58	1175. 80		砂岩	灰白																						1175. 55~1175. 60mは約10° の砂質葉理を挟む。 1175. 80~1179. 40m: 砂岩。 1175. 80~1176. 65mは細粒~中粒砂岩。下位に向かって粗粒化傾向。約10° の泥質葉理が認められる。割れ目は少なく、面は新鮮。	1176
1177		-1141. 43	1176. 65			緑灰																							1176. 65~1177. 75mはやや泥質な細粒砂岩。割れ目は少なく、面は新鮮。
1178		-1142. 53	1177. 75		砂岩	褐灰																						1177. 75~1179. 40mは細粒~中粒砂岩。所々に約10° の葉理が認められる。割れ目はほとんどない。	1178
1179					頁岩	灰白																							1179
1180		-1144. 18	1179. 40			褐灰																						1179. 40~1182. 45m: 頁岩。 10~20° の割れ目が2~5cm間隔で発達するが、面は概ね新鮮。 所々に砂岩を挟む。	1180

※硬さ  
 A: ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 B: 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。  
 C: 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。  
 D: 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。  
 E: 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。  
 F: 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状  
 I: 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)  
 II: 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)  
 III: 短柱状 (全周を有し10cm未満)  
 IV: 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)  
 V: 細片状 (長さ4cm未満の岩片)  
 VI: 土砂状

※断裂面の性状  
 1. 割目が新鮮。  
 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。  
 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0. 5mm以上について記載)。  
 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。  
 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の60)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状 図	地質 名	色調	岩級 区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)		
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	土細岩	短柱長	砂片	片柱	柱状		状状	状状
1181		-1145. 28	1180. 50		頁岩	褐灰																			1181. 05~1081. 25mは中粒砂岩を挟む。	1181	
1182						暗褐																			1181. 55~1181. 70mは凝灰質な細粒~中粒砂岩を挟み、20°の葉理が認められる。	1182	
1183		-1147. 23	1182. 45		砂岩	緑灰																			1182. 45~1188. 40m：砂岩。	1182. 45~1182. 90mは凝灰質な細粒砂岩。割れ目面は新鮮。 1182. 90~1188. 40mは中粒~粗粒砂岩で、所々に10~20°の凝灰質な葉理が認められる。割れ目は少なく、面は新鮮。	1183
1184		-1147. 68	1182. 90			灰白 ~ 緑灰																					1184
1185		-1149. 48	1184. 70																								1185
1186						灰白																					1186
1187																									1187		
1188		-1153. 18	1188. 40		頁岩	暗褐 ~ 褐灰																			1188. 40~1189. 95m：頁岩。 全体的にやや砂質で、10~20°の割れ目が3~7cm間隔で発達するが、面は新鮮。	1188	
1189																										1189	
1190		-1154. 73	1189. 95		砂岩	緑灰 ~ 暗褐																			1189. 95~1190. 95m：砂岩。 凝灰質な細粒砂岩。10~20°の泥質な葉理が発達する。10~20°の割れ目が卓越するが、面は新鮮。	1190	
1191		-1155. 73	1190. 95				黒褐 ~ 緑灰																		1190. 95~1191. 95m：頁岩。 所々に凝灰質部を挟む。10~20°の割れ目が発達するが、面は新鮮。	1191	
1192		-1156. 73	1191. 95		砂岩	暗緑灰 ~ 暗褐																			1191. 95~1197. 85m：砂岩。 1191. 95~1192. 80mは凝灰質な細粒~極細粒砂岩。割れ目面は新鮮。	1192	
1193		-1157. 58	1192. 80																						1192. 80~1196. 65mは中粒~粗粒砂岩で、所々に15~25°の葉理が認められる。割れ目は非常に少なく、面は新鮮。	1193	
1194																										1194	
1195						灰白																				1195	
1196																									1196		
1197																								1196. 65~1197. 85mは極粗粒砂岩で、φ0. 5~2cmの頁岩角礫を少量含む。割れ目は非常に少なく、面は新鮮。	1197		
1198		-1162. 63	1197. 85		頁岩	暗褐 ~ 暗緑灰																			1197. 85~1200. 20m：頁岩。 1197. 85~1199. 50mは10~20°の凝灰質な葉理がしばしば認められる。10~20°の割れ目が3~10cm間隔で発達するが、面は新鮮。	1198	
1199		-1164. 28	1199. 50																							1199	
1200		-1164. 98	1200. 20				暗褐																		1199. 50~1200. 20mは2~4cm間隔で発達する10~20°の割れ目に、60~70°の割れ目が交差して岩片状となる。面は概ね新鮮だが所々光沢がある。	1200	

- ※硬さ
- A：ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。
  - B：中打で割れ、ナイフで傷がつかない（金属音）。
  - C：中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難（亜金属音）。
  - D：軽打で割れ、ナイフで傷がつく（亜金属音）。
  - E：軽打で割れ、ナイフでけずれる（だく音）。
  - F：手で割れ、ナイフが付きささる程度以下（だく音）。

- ※コアの形状
- I：長柱状（30cm以上の円柱状コア）
  - II：柱状（10cm以上30cm未満の円柱状コア）
  - III：短柱状（全周を有し10cm未満）
  - IV：岩片状（全周のない4cm以上の岩片）
  - V：細片状（長さ4cm未満の岩片）
  - VI：土砂状

- ※断裂面の性状
- 1. 割目が新鮮。
  - 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する（厚さ0. 5mm以上について記載）。
  - 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する（厚さ0. 5mm以上について記載）。
  - 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
  - 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

標尺(m)	月日	標高(m)	深度(m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ							※コアの形状						※断裂面の性状	記事	標尺(m)								
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5				4	3	2	1				
1201		-1164.98	1200.20		頁岩	暗褐																						1200.20~1200.75m:砂岩。凝灰質な細粒砂岩。10~20°の葉理が発達。割れ目面は新鮮。	1201		
		-1165.53	1200.75		砂岩	緑灰																						1200.75~1203.70m:頁岩。1200.75~1203.45mは10~20°の割れ目が卓越し、60~80°の割れ目が交差する。面は所々光沢がある。10~20°の凝灰質な葉理が認められる。			
1202		-1166.83	1202.05		頁岩	暗褐 暗緑灰																									
1203					頁岩	暗褐																									
1204		-1168.48	1203.70		礫岩	緑灰																						1203.45~1203.70mは70°の割れ目に沿って幅4~5cmが細片化~粘土化しており、細片の表面には光沢がある。	1204		
		-1168.83	1204.05		頁岩	暗褐 暗緑灰																						1203.70~1204.05m:凝灰質な礫岩。			
1205		-1170.03	1205.25		頁岩	暗褐 暗緑灰																						1204.05~1205.25m:頁岩。所々10~20°の凝灰質な葉理が認められる。1204.05~1204.35mは60°の割れ目に沿って幅約4cmが細片化~粘土化しており、細片の表面には光沢がある。	1205		
1206					砂岩	緑灰																						1205.25~1206.50m:砂岩。凝灰質な細粒砂岩。所々に10~20°の泥質な葉理が認められる。割れ目は少なく、面は新鮮。	1206		
1207		-1171.28	1206.50		頁岩	暗褐																						1206.50~1207.30m:頁岩。1206.60mに60°の割れ目があり、面には光沢があり、幅3~4mmの赤褐色細片混じり粘土を挟む。	1207		
1208		-1172.08	1207.30		頁岩	暗褐 緑灰																						1207.30~1210.85m:砂岩。1207.30~1208.95mは凝灰質な細粒砂岩。10~20°の泥質な葉理があり、所々泥岩を挟む。10~20°の割れ目が発達するが、面は概ね新鮮。	1208		
1209		-1173.73	1208.95		砂岩	緑灰																						1208.95~1210.85mは凝灰質な細粒~中粒砂岩。所々10~20°の葉理が認められる。割れ目は少なく、面は新鮮。	1209		
1210					頁岩	暗褐 暗緑灰																									
1211		-1175.63	1210.85		頁岩	暗褐 暗緑灰																						1210.85~1213.00m:頁岩。1210.85~1212.45mは低角度の割れ目と高角度の割れ目が交差し、岩片状コアが卓越する。割れ目面は概ね新鮮だが、所々割れ目扱いに劣化し面に光沢がある。	1211		
1212					頁岩	暗褐 暗緑灰																						1212.45~1213.00mは凝灰質で、45~60°の割れ目に沿って劣化し、全体的に脆弱。	1212		
1213		-1177.78	1213.00		頁岩	暗褐 暗緑灰																						1213.00~1218.75m:砂岩。1213.00~1214.70mはやや凝灰質な細粒~中粒砂岩。所々約15°の葉理が認められる。割れ目は少なく、面は新鮮。	1213		
1214		-1179.48	1214.70		砂岩	緑灰																						1214.70~1218.75mは中粒~粗粒砂岩。所々幅5~10cmの極粗粒砂岩~礫岩を挟む。	1214		
1215					砂岩	緑灰																									
1216					砂岩	緑灰																									
1217					砂岩	緑灰																									
1218					砂岩	灰白																									
1219		-1183.53	1218.75		頁岩	暗褐																						1218.75~1228.70m:頁岩。5~15°の割れ目が3~5cm間隔で発達し、所々35~45°の割れ目が交差する。低角度の面は概ね新鮮であるが、中角度の面は光沢や条線が認められることもある。	1219		
1220					頁岩	暗褐																									

※硬さ

- A:ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- B:中打で割れ、ナイフで傷がつかない(金属音)。
- C:中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難(亜金属音)。
- D:軽打で割れ、ナイフで傷がつく(亜金属音)。
- E:軽打で割れ、ナイフでけずれる(だく音)。
- F:手で割れ、ナイフがつきささる程度以下(だく音)。

※コアの形状

- I:長柱状(30cm以上の円柱状コア)
- II:柱状(10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III:短柱状(全周を有し10cm未満)
- IV:岩片状(全周のない4cm以上の岩片)
- V:細片状(長さ4cm未満の岩片)
- VI:土砂状

※断裂面の性状

- 1.割目が新鮮。
- 2.付着物があり、褐色や黒褐色を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3.付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する(厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4.付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5.付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13.6(63の62)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ						※コアの形状						※断裂面の性状					標尺 (m)																	
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1		記	事															
1221																																										
1222						暗褐																																				
1223																																										
1224																																										
1225			-1189.13	1224.35	頁岩	暗褐																																				
1226						暗緑灰																																				
1227			-1191.53	1226.75																																						
1228			-1192.83	1228.05		暗褐																																				
1229			-1193.48 -1193.68	1228.70 1228.90		暗緑灰																																				
1230					砂岩	緑灰																																				
1231																																										
1232			-1196.58	1231.80		灰白																																				
1233						緑灰																																				
1234			-1198.38	1233.60		暗褐																																				
1235			-1198.98	1234.20		緑灰																																				
1236			-1199.93	1235.15		暗褐																																				
1237					頁岩	暗緑灰																																				
1238																																										
1239			-1203.98	1239.20		暗褐																																				
1240																																										

※硬さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

K-13. 6(63の63)

G L = 35. 22m

L = 1253. 0m

標尺 (m)	月日	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	※硬さ											※コアの形状						※断裂面の性状					記事	標尺 (m)
								F	E	D	C	B	A	VI	V	IV	III	II	I	5	4	3	2	1							
1241		-1205. 93	1241. 15		頁岩	暗褐																						<p>1241. 15~1241. 45mは凝灰質な細粒~中粒砂岩を挟む。約15°の葉理が認められる。</p> <p>1241. 85~1242. 00mは35°の割れ目に沿った潜在的な角礫化構造が認められるが固結している。</p> <p>1242. 65~1243. 00mは細片状で、所々表面に光沢がある。</p> <p>1248. 50~1249. 80mは卓越する低角度の割れ目に、所々で60~70°の割れ目が交差する。低角度の面は概ね新鮮であるが、高角度の面は光沢がある。</p> <p>1250. 00~1250. 10mは凝灰質な細粒砂岩を挟む。</p> <p>1250. 35~1250. 75mは緑灰色の細粒凝灰岩を挟む。</p>	1241		
1242				暗褐																							1242				
1243						暗褐																							1243		
1244						?																							1244		
1245																													1245		
1246																													1246		
1247																													1247		
1248						暗緑灰																							1248		
1249																													1249		
1250		-1215. 13	1250. 35			暗緑灰																							1250		
1251		-1215. 53	1250. 75		暗褐																						1251				
1252					?																						1252				
1253		-1217. 78	1253. 00		暗緑灰																						1253				
1254																											1254				
1255																											1255				
1256																											1256				
1257																											1257				
1258																											1258				
1259																											1259				
1260																											1260				

※硬さ

- A : ハンマーによる強打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- B : 中打で割れ、ナイフで傷がつかない (金属音)。
- C : 中打で割れ、ナイフで傷をつけるのが困難 (亜金属音)。
- D : 軽打で割れ、ナイフで傷がつく (亜金属音)。
- E : 軽打で割れ、ナイフでけずれる (だく音)。
- F : 手で割れ、ナイフがつきささる程度以下 (だく音)。

※コアの形状

- I : 長柱状 (30cm以上の円柱状コア)
- II : 柱状 (10cm以上30cm未満の円柱状コア)
- III : 短柱状 (全周を有し10cm未満)
- IV : 岩片状 (全周のない4cm以上の岩片)
- V : 細片状 (長さ4cm未満の岩片)
- VI : 土砂状

※断裂面の性状

- 1. 割目が新鮮。
- 2. 付着物があり、褐色や黒褐色を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 3. 付着物があり、青色・緑色・黄色・白色等を呈する (厚さ0.5mm以上について記載)。
- 4. 付着物がなく、褐色や黒褐色を呈する。
- 5. 付着物がなく、青色・緑色・黄色・白色等を呈する。

H-5. 4-4E (4の1)

G L = 11.06m

L = 160.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
0					黒							0.00~6.30 盛土。	
					黒褐								
					褐								
	9.43	6.30			明黄褐 にぶい					24	-	Cb	
					黄 にぶい					27	93		
					黄 にぶい					34	71	Bb	
					黒褐					29	86		
				安山岩 (角礫質)	オリ ブ褐 と 黒褐					36	91		
					黒					34	61		
					灰オリ ブ 黒褐					19	47		
					黒					37	100		
					灰オリ ブ 黒褐					54	100		
	7.01	15.65			灰褐 と 暗灰黄					38	100		
				凝灰角 礫岩	灰褐 と 暗灰黄					39	76		
					暗赤灰					47	99		
	6.06	19.30			暗赤灰					30	100		
				安山岩 (角礫質)	暗赤灰					25	67		
					にぶい 赤					39	60		
	5.39	21.90			にぶい 赤					53	-	21.90~43.75 埋土。	
					暗褐								
40													



H-5. 4-4E (4の2)

GL = 11.06m

L = 160.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
40					暗褐								
	-0.26	43.75											
45					暗赤褐					11	—		
										39	55		
										29	91		
										33	100		
										33	100		
										60	98		
50					凝灰角礫岩					56	100		
										34	88		
					にぶい赤褐					23	100		
										32	93		
										23	96		
										37	100		
55										35	85		
					暗褐					30	88		
										35	100		56.67~56.72 見掛けの傾斜角10~20°の厚さ4.0~5.0cmの破砕部。厚さ4.0~5.0cmの固結した破砕部からなる。
	-4.05	58.40								36	100		56.72~56.81 見掛けの傾斜角15~20°の流動構造あり。
60				安山岩 (角礫質)	灰オリープ					43	84		
	-4.65	60.70		凝灰角礫岩	オリープ黒					61	100		
	-4.88	61.60		安山岩 (角礫質)						27	78	Bb	
	-5.14	62.60								43	81		
					灰褐					41	94		
										39	96		
65					灰オリープ					42	57		
					オリープ黒					25	82		
										23	88		
										48	67		
										24	93		
70					凝灰角礫岩					39	81		
										32	87		
					暗赤褐					23	96		
										35	100		
										19	73		
										29	76		
75					灰オリープ					36	89		75.50~75.70 見掛けの傾斜角10~40°の厚さ17cmの破砕部。厚さ17cmの固結した破砕部からなる。
										21	92		75.70~75.90 見掛けの傾斜角30~50°の流動構造あり。
										29	90		
					にぶい黄褐					29	83		78.28~78.54 見掛けの傾斜角40~50°の流動構造あり。 78.54~79.31 見掛けの傾斜角25~60°の厚さ64~68cmの破砕部。厚さ46~49cmの固結した破砕部及び厚さ18~19cmのオリープ褐色の粘土状破砕部からなる。(S-2・S-6断層)
80													

H-5. 4-4E(4の3)

GL = 11.06m

L = 160.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
80	-10.14	81.90	△△△	凝灰角礫岩	にぶい黄褐					33	80	Bb	<p>86.82~86.88 見掛けの傾斜角40°の厚さ3.8~4.6cmの破砕部。厚さ3.8~4.6cmの固結した破砕部からなる。</p> <p>87.28~87.38 見掛けの傾斜角30°の厚さ9.4cmの破砕部。厚さ9.4cmの固結した破砕部からなる。</p> <p>87.38~87.46 見掛けの傾斜角30~50°の流動構造あり。</p> <p>87.46~87.79 見掛けの傾斜角40~50°の厚さ21~22cmの破砕部。厚さ20~21cmの固結した破砕部及び厚さ1.2~1.8cmの浅黄色の粘土状破砕部からなる。(B-2断層)</p>
										21	67		
85	-10.40	82.90	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐					28	73		
										30	85		
85	-10.89	84.80	△△△	凝灰角礫岩	にぶい黄褐					43	93		
										46	96		
90	-11.52	87.25	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐					45	74		
										23	72		
90	-11.85	88.50	△△△	凝灰角礫岩	赤褐 オリーブ褐					26	66		
										18	18		
90	-12.57	91.30	▽▽▽	安山岩(角礫質)	褐灰					39	67		
										34	75		
95	-13.95	96.65	△△△	凝灰角礫岩	暗赤					23	68		
										59	93		
95	-13.95	96.65	△△△	凝灰角礫岩	灰黄褐 暗灰黄					48	100		
										31	67		
100	-15.47	102.50	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤 褐灰					58	94		
										31	57		
105	-16.01	104.60	△△△	凝灰角礫岩	暗オリーブ					25	49		
										47	62		
105	-16.71	107.30	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤灰 褐灰					27	44		
										18	52		
105	-17.13	108.90	△△△	凝灰角礫岩	極暗赤褐					42	71		
										76	98		
110	-16.01	104.60	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐					50	82		
										44	100		
110	-16.71	107.30	△△△	凝灰角礫岩	暗オリーブ褐					14	67		
										33	100		
110	-17.13	108.90	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐					66	100		
										45	45		
110	-17.64	110.90	△△△	凝灰角礫岩	暗オリーブ褐 オリーブ褐					46	93		
										90	100		
115	-17.97	112.15	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐 暗赤					72	94		
										20	49		
115	-18.35	113.65	△△△	凝灰角礫岩	暗オリーブ褐 暗赤					23	73		
										23	73		
115	-18.70	115.00	▽▽▽	安山岩(均質)	暗赤褐 赤黒					19	41		
										19	41		
115	-19.04	116.30	△△△	凝灰角礫岩	暗赤灰 赤褐					71	71		
										38	100		
120	-19.78	119.15	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐 暗オリーブ褐					55	93		
										36	86		
120	-19.78	119.15	△△△	凝灰角礫岩	暗赤褐 暗オリーブ褐					38	100		
										36	86		
120	-19.78	119.15	▽▽▽	安山岩(角礫質)	暗オリーブ褐					36	86		
										36	86		
												106.35~106.39 細片状コア。	
												115.82~116.00 細片状~岩片状コア。	

H-5. 4-4E(4の4)

G L = 11. 06m

L = 160. 0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事	
						20	40	60	80					
120	-20.14	120.55	▽▽▽▽ △△△△	安山岩 (角礫質)	暗オリーブ褐					48	70	Bb	120.55~124.21 黄色礫を含む。	
					暗赤褐						45			88
					暗褐						31			87
					極暗赤褐						22			44
					暗赤褐 ↳ 暗赤						14			14
					暗赤褐 ↳ 暗赤						58			73
					暗赤 ↳ にぶい赤						73			100
					暗赤 ↳ にぶい赤						26			91
					暗赤 ↳ にぶい赤						22			75
					暗赤 ↳ にぶい赤						37			90
130	-22.77	130.70	▽▽▽▽ △△△△	安山岩 (角礫質)	暗赤					31	99	Bb	133.81~133.90 見掛けの傾斜角30~45°の厚さ5.6~7.0cmの破砕部。厚さ5.5~6.8cmの固結した破砕部及び厚さ0.1~0.2cmの黄褐色の粘土状破砕部からなる。(S-5断層)	
					暗赤						30			91
					灰赤 ↳ 赤褐						22			79
					暗赤褐						29			65
135	-23.60	133.90	▽▽▽▽ △△△△	凝灰角礫岩	暗赤褐					30	79	Bb	134.43 見掛けの傾斜角55°の厚さ0.3~1.4cmの破砕部。厚さ0.3~1.4cmの固結した破砕部からなる。	
					暗赤						31			82
					暗赤						49			88
					暗赤						60			78
140	-24.61	137.80	▽▽▽▽ △△△△	安山岩 (角礫質)	暗赤褐					24	73	Bb	141.73 見掛けの傾斜角35~50°の厚さ0.8~1.6cmの破砕部。厚さ0.8~1.6cmの固結した破砕部からなる。	
					暗オリーブ						35			73
					暗赤						30			44
					暗赤						56			100
145	-25.51	141.30	▽▽▽▽ △△△△	凝灰角礫岩	暗オリーブ・暗赤					42	87	Bb	143.46~143.49 土砂状~細片状コア。	
					暗赤						42			83
					暗赤						29			86
					赤黒 ↳ 暗赤灰						18			88
					暗赤						33			86
					暗赤						23			68
					暗赤						47			81
					暗赤						30			82
					暗オリーブ・極暗赤褐						16			76
					暗オリーブ・暗赤						35			82
150	-27.76	150.00	▽▽▽▽ △△△△	安山岩 (均質)	暗オリーブ・暗赤					22	63	Bb	149.76~149.98 見掛けの傾斜角30~40°の厚さ16~20cmの破砕部。厚さ16~20cmの固結した破砕部からなる。(S-4断層)	
					暗オリーブ・紫黒						55			93
					暗赤						39			82
					暗赤						25			75
155	-28.63	153.35	▽▽▽▽ △△△△	安山岩 (角礫質)	極暗赤褐					26	26	Ba		
					暗オリーブ・紫黒						21			79
					暗赤						27			74
					暗赤						33			52
160	-30.35	160.00	▽▽▽▽ △△△△	安山岩 (均質)	極暗赤褐					25	75	Ba		
					暗オリーブ・黒						21			79

H-7.9-1(2の1)

GL = 11.06m

L = 60.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.25 ノンコア。	
	-0.16	11.25			灰							11.25~15.55 コンクリート。	
	-4.45	15.55			暗赤褐				12	—		15.64~15.76 細片状~岩片状コア。	
	-4.90	16.00	△	凝灰角礫岩 安山岩 (角礫質)	黒				17	53			
	-5.85	16.95	△						37	87			
			△		灰赤 と 灰褐				50	69			
			△						45	94			
			△						38	63			
			△						31	31	Bb		
			△						17	17			
			△						4	4			
			△		暗赤褐				34	51			
			△						19	64			
			△						23	37			
			△						22	51			
			△		凝灰角礫岩				33	33	Cb		
			△		にぶい赤褐				42	89			
			△						27	92			
			△		灰褐 灰オリ にぶい赤褐				37	67			
			△		にぶい赤褐 と 灰赤 にぶい黄褐				34	97			
			△						38	98			
			△		暗褐 明黄褐 暗赤褐				32	82	Bb		
			△						27	68			
			△		灰褐				34	69			
			△		赤灰				30	100			
			△		灰赤 と 赤褐				32	93			
	-28.64	39.80	△	安山岩 (角礫質)	暗赤灰 ・赤褐				40	64			
40												39.14~39.17 細片状コア。 39.57~39.61 細片状~岩片状コア。	

H-7. 9-1 (2の2)

G L = 11. 06m

L = 60. 0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事							
						20	40	60	80											
40	-30.19	41.35	▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤灰・赤褐					28	86	Bb	49. 85～50. 23 見掛けの傾斜角50～60°の厚さ24cmの破碎部。厚さ24cmの固結した破碎部からなる。(S-4断層)  55. 52～55. 53 土砂状～細片状コア。							
					安山岩 (均質)					黄灰・褐灰	25	68		Ba						
45			▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	灰赤にふい					13	22	Bb								
					赤褐					18	54									
50	-38. 67	49. 85	△△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△	凝灰角礫岩	赤褐					16	32									
					黄褐					30	61									
					青灰・褐灰					21	46									
55			△△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△	凝灰角礫岩	オリブ褐					21	21									
					灰赤					27	83									
					にふい赤褐					26	54									
					暗赤褐					27	97									
					60					-48. 79	60. 00			△△△△ △△△△ △△△△ △△△△	凝灰角礫岩	赤褐				43
												36								99
												35								79
												51	81							
65			△△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△	凝灰角礫岩	赤褐				21	93										
									47	100										
									57	100										
									57	100										
70																				
75																				
80																				

R-8. 1-1-3(1の1)

GL = 10.95m

L = 30.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.35 ノンコア区間。	
	-0.32	11.35			灰白					5	—	11.35~11.85 コンクリート。	
	-0.81	11.85			にぶい赤褐					32	92	11.98~14.01 黄色礫を含む。	
					暗赤褐					56	93		
										36	100		
										56	88		
										61	100	16.40~17.25 黄色礫を含む。	
										100	100		
										78	99		
										100	100		
				凝灰角礫岩	灰黄 オリブ					70	100		
										80	100		
										52	93	21.97~22.21 見掛けの傾斜角50~65°の流動構造あり。	
										47	99	22.21~22.26 見掛けの傾斜角75~80°の厚さ1.0~1.8cmの破砕部。厚さ1.0~1.8cmのオリブ黄色の粘土状破砕部からなる。(S-5断層)	
										79	97		
										73	90		
										100	100		
										100	100		
					灰褐					77	86		
										60	100	24.57 黄色礫を含む。	
30	-18.83	30.00											
35													
40													

R-8. 1-1-7(1の1)

GL = 10.95m

L = 40.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.30 ノンコア区間。	
	-0.32	11.30		-	灰白						19	-	11.30~11.75 コンクリート。
	-0.77	11.75		-	灰褐						26	91	12.58~14.66 黄色礫を含む。
			△		暗赤褐						24	93	
			△								61	100	
			△								36	99	
			△								95	100	
			△								100	100	
			△								82	100	
			△								60	93	
			△								67	91	
			△								100	100	
			△								75	99	
			△								40	95	
			△	凝灰角礫岩	暗赤灰						100	100	
			△		灰オリ						39	91	
			△		一フ						90	100	
			△								52	99	
			△								81	100	
			△								52	100	
			△								41	95	
			△								40	77	31.10~31.50 見掛けの傾斜角75~85°の厚さ2.6~4.5cmの破砕部。厚さ2.6~4.5cmの固結した破砕部からなる。
			△								75	100	31.50~31.66 見掛けの傾斜角70~90°の流動構造あり。
			△								78	100	32.18~32.21 見掛けの傾斜角75~90°の厚さ0.4~3.0cmの破砕部。厚さ0.4~3.0cmの固結した破砕部からなる。(S-5断層)
			△								78	100	32.64~33.11 黄色礫を含む。
	-23.17	34.20	▽								70	100	33.79~34.18 黄色礫を含む。
			▽								34	99	
			▽								55	100	
			▽	安山岩 (角礫質)	暗赤						37	73	
			▽		赤黒						19	48	
			▽		暗オリ						22	73	
40	-28.95	40.00	▽		一フ								

R-8. 1-1-8(2の1)

GL = 10.95m

L = 45.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.30 ノンコア区間。	
	-0.33	11.30			灰白					18	—	11.30~11.75 コンクリート。	
	-0.78	11.75			灰褐					31	86	12.51~14.88 黄色礫を含む。	
			△		暗赤褐					17	49		
			△							59	82		
			△							52	100		
			△							42	99		
			△							62	100		
			△							69	100		
			△							100	100		
			△							79	92		
			△							79	91		
			△							67	100		
			△							29	95		
			△		暗赤灰 〜 灰オリーブ					100	100		
			△	凝灰角 礫岩						66	95		
			△							57	91		
			△							41	97		
			△							70	100		
			△							55	89		
			△							30	70		
			△							44	86	30.84~30.88 細片状コア。 31.21~31.28 細片状〜岩片状コア。	
			△							54	100		
			△							53	99	33.25~33.40 見掛けの傾斜角75~80°の厚さ1.0~2.6cmの破砕部。厚さ1.0~2.6cmの固結した破砕部からなる。	
			△		暗赤 〜 にぶい 赤褐					47	100	33.34~35.00 黄色礫を含む。	
			△							53	59	35.11~36.20 黄色礫を含む。	
			△							51	78	35.84~36.23 見掛けの傾斜角60~90°の厚さ3.2~4.1cmの破砕部。厚さ3.2~4.1cmの固結した破砕部からなる。(S-5断層)	
			△							31	76	36.37~36.47 見掛けの傾斜角75~80°の厚さ1.0~2.9cmの破砕部。厚さ1.0~2.9cmの固結した破砕部からなる。	
	-27.10	38.10	▽		暗赤					31	76	37.15~37.21 周囲に比べ軟質。	
			▽							23	90		
			▽	安山岩 (角礫 質)	暗オリーブ					56	100		



R-8. 1-1-8 (2の2)

GL = 10.95m

L = 45.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
40	-33.99	45.00		安山岩 (角礫質)	暗オリーブ					34	95	Bb	44.67~44.76 周囲に比べやや軟質。 44.83~45.00 細片状~岩片状コア。
27										37			
47										100			
18										48			
13										24			
45													
50													
55													
60													
65													
70													
75													
80													

H-7. 9-1-1 (2の1)

GL = 11.06m

L = 60.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記 事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.30 ノンコア区間。	
	-0.22	11.30		—	灰						—	11.30~16.40 コンクリート。	
	-5.32	16.40			灰黄褐				36	—			
					にぶい黄褐				33	97			
					にぶい赤褐 灰褐				45	88			
					凝灰角礫岩				51	89			
					赤褐 灰褐				24	75			
					オリーブ灰 暗灰黄				42	85			
					灰赤 にぶい赤褐				15	40			
					黄褐 にぶい黄褐				22	72			
					灰褐				16	46			
					安山岩 (角礫質)				28	92			
					赤褐 灰赤				37	37		26.20~28.50 黄色礫を含む。	
					灰褐				36	78		27.90~28.05 細片状~岩片状コア。	
									15	39		29.20~31.00 黄色礫を含む。	
									28	95			
									20	86			
									22	45			
									23	76			
									35	60		33.32~35.60 黄色礫を含む。	
									25	61			
									28	60			
									20	57		35.72~35.75 見掛けの傾斜角40~45°の厚さ0.8~2.0cmの破砕部。厚さ0.8~2.0cmの黄褐色の角礫状破砕部からなる。	
									18	45		35.99~36.01 周囲に比べ軟質。	
									34	81		36.08~36.11 周囲に比べ軟質。	
40	-25.79	36.90			赤褐~灰赤				34	84			

H-7. 9-1-1 (2の2)

G L = 11. 06m

L = 60. 0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	R Q D (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
40	-30.18	41.30	▽▽ △△	安山岩 (角礫質)	赤褐 と 灰赤					30	82	Bb 49.20~49.64 見掛けの傾斜角50~70°の厚さ22cmの破砕部。厚さ22cmの固結した破砕部からなる。(S-4断層)	
										47	95		
45	-33.18	44.30	△△ ▽▽ △△ ▽▽	凝灰角 礫岩	灰赤 と 赤褐					21	67		
										19	75		
										24	66		
										17	62		
										10	10		
										14	35		
50	-38.07	49.20	▽▽ △△ ▽▽ △△ ▽▽	安山岩 (角礫質)	灰オリ ーフ と オリーブ					16	32		
										25	59		
										43	90		
										50	96		
										62	100		
										51	99		
55	-44.51	55.65	△△ ▽▽ △△ ▽▽	凝灰角 礫岩	灰赤 と にぶい 赤褐					45	100		
										35	98		
										55	100		
										51	99		
60	-46.46	57.60	▽▽ △△ ▽▽	安山岩 (角礫質)	灰赤					14	42	56.20~56.23 細片状コア。	
										28	70		
										27	85		
60	-48.86	60.00	△△ ▽▽	凝灰角 礫岩	にぶい 赤褐 と 赤褐					31	89		
										31	89		
65													
70													
75													
80													

R-8.1(2の1)

GL = 10.95m

L = 80.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.30 ノンコア。	
	-0.33 -0.78	11.30 11.75		—	灰白 にぶい 黄橙 と 褐灰				17	—	—	11.30~11.75 コンクリート。	
			△△△	凝灰角 礫岩	赤褐 と 灰赤				74	90	Bb	13.13~13.80 黄色礫を含む。	
			△△△							49		77	14.43~14.48 細片状~岩片状コア。
			△△△						36	89		14.61~15.60 黄色礫を含む。	
			△△△						75	99			
			△△△		灰オリ ーブ と オリ ーブ 黒				50	100		16.24~16.58 黄色礫を含む。	
			△△△						47	99			
			△△△		灰オリ ーブ と オリ ーブ 黄				88	100			
			△△△						74	96			
			△△△						95	100			
			△△△		オリ ーブ 灰 と 灰オリ ーブ				45	82			
			△△△						71	96			
			△△△		オリ ーブ 灰 と にぶい 黄褐				39	94			
			△△△						39	97		23.57~23.63 黄色礫を含む。	
			△△△		オリ ーブ 灰 と にぶい 黄褐				36	94			
			△△△					68	100				
			△△△	オリ ーブ 灰 と にぶい 黄褐				18	83				
			△△△					100	100	27.71~27.75 細片状~岩片状コア。			
			△△△	オリ ーブ 灰 と にぶい 黄褐				56	100				
			△△△					33	98				
			△△△	にぶい 褐 と 暗褐				64	92				
			△△△					41	90	33.30~33.88 黄色礫を含む。			
			△△△	にぶい 褐 と 暗褐				36	99				
			△△△					46	94				
			△△△	褐 と オリ ーブ 褐				65	95				
			△△△					59	100	35.67~37.65 黄色礫を含む。			
			△△△	灰赤 と オリ ーブ 灰				42	75				
			△△△					86	96				
	-27.50	38.50	▽▽▽	安山岩 (角礫 質)	灰オリ ーブ								
40			▽▽▽						34	97			

R-8. 1(2の2)

G L = 10. 95m

L = 80. 0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	R Q D (%)	岩級区分	記 事													
						20	40	60	80																	
40 45 50 55				安山岩 (角礫質)	灰オリ ーブ	25	42			25	42	Bb	40. 25~40. 34 細片状~岩片状コア。 40. 58~40. 60 細片状コア。													
						21	86																			
						52	97																			
						32	85																			
						39	92																			
						31	74																			
						55 60 65	-44. 47	55. 50		安山岩 (均質)	灰赤 ~ 灰褐	100	100			100	100	Cb	45. 00~46. 00 周囲に比べやや軟質。 45. 70~45. 75 細片状~岩片状コア。							
												69	88													
												60 65 70 75	-46. 22	57. 25		安山岩 (角礫質)	灰オリ ーブ ~ 灰黄褐	21	74			21	74	Bb	58. 15~58. 22 見掛けの傾斜角50° の厚さ4. 0~4. 3cmの破碎部。厚さ3. 7cmの固結した破碎部及び厚さ0. 3~0. 6cmのオリーブ色の粘土状破碎部からなる。(S-4断面)	
																		43	100							
																		95	95							
																		30	66							
																		65 70 75 80	-53. 51	64. 55		安山岩 (均質)	灰	30		91
30	67																									
76	100																									
40	82																									
59	100																									
25	85																									
41	84																									
52	80																									
36	87																									
26	38																									
32	76																									
29	92																									
25	96																									
36	89																									
52	100																									
54	98																									
23	81																									
23	68																									
41	94																									
39	100																									
32	100																									
35	90																									
26	58																									
12	23																									
80	-68. 04	79. 10		安山岩 (角礫質)	オリーブ ~ 灰オリーブ	37	77			37	77	Bb														
	-68. 94	80. 00																								

R-8. 1-1-9 (2の1)

GL=10.95m

L=45.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記 事
						20	40	60	80				
0												0.00~11.30 ノンコア。	
												11.30~11.55 コンクリート。	
											Bb	12.94~15.96 黄色礫を含む。	
				凝灰角礫岩	灰白					35	—		
					暗灰黄						50	100	
					暗赤褐						47	72	
					暗赤褐						37	98	
					暗赤褐						53	99	
					黒褐						100	100	
					黒褐						57	94	
					黒褐						86	100	
					黒褐						100	100	
					暗赤褐						62	99	
					暗赤褐						45	84	
					暗赤褐						59	88	
					暗赤褐						94	100	
					暗赤褐						90	92	
					暗赤褐						53	98	
					暗赤褐						88	100	
				暗赤褐						28	98		
				暗赤褐						71	100		
				暗赤褐						35	93		
				暗赤褐						25	79		
				暗赤褐						45	55		
				暗赤褐						30	83		
				暗赤褐						60	83		
				暗赤褐						47	100		
				暗赤褐						78	100		
				暗赤褐						100	100		
				暗赤褐						34	98		
				暗赤褐						85	91		
				暗赤褐						26	98		
				暗赤褐								32.75 黄色礫を含む。	
				暗赤褐								33.16~33.61 黄色礫を含む。	
				暗赤褐								34.16~36.11 黄色礫を含む。	
				暗赤褐								36.62~37.11 黄色礫を含む。	
				暗赤褐									

R-8. 1-1-9 (2の2)

GL = 10.95m

L = 45.0m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	コア採取率 (%)				最大コア長 (cm)	RQD (%)	岩級区分	記事		
						20	40	60	80						
40	-29.25	40.30	▽ ▽ ▽ ▽ ▽	凝灰角礫岩	暗赤褐					32	72	Bb	40.32~40.35 細片状コア。 40.47~40.53 細片状コア。		
														22	96
														33	90
														38	100
														100	100
45	-33.94	45.00	▽ ▽ ▽ ▽ ▽	安山岩 (角礫質)	灰オリーブ										
50															
55															
60															
65															
70															
75															
80															

---

余白